

平成30年

決算特別委員会

9月11日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

平成30年 9 月11日

午前10時00分 開議

午後 5 時56分 閉議

1. 出席委員

委員長	近 藤 善 人	副委員長	月 岡 修 一
委員	富 永 秀 一	委員	後 藤 学
委員	郷右近 修	委員	清 水 義 昭
委員	近 藤 ひろひで	委員	蟹 井 智 行
委員	宮 本 英 彦	委員	ふじえ 真理子
委員	鵜 飼 貞 雄	委員	村 山 金 敏
委員	近 藤 千 鶴	委員	早 川 直 彦
委員	山 盛 さちえ	委員	近 藤 郁 子
委員	一 色 美智子		
議長	杉 浦 光 男		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴 木 美智雄	議事課長	近 藤 恒 明
議事課長補佐 兼議事担当係長	水 野 美 樹	議事課専門員	吉 井 徹 也
議事課主事	荻 正 幸		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	坪 野 順 司	教 育 長	伏 屋 一 幸
行政経営部長	藤 井 和 久	市民生活部長	石 川 晃 二
健康福祉部長	加 藤 育 子	経済建設部長	相 羽 喜 次
教 育 部 長	小 串 真 美	行政経営部次長	岩 瀬 雅 哉
経済建設部次長	若 林 博 志	財 政 課 長	伊 藤 正 弘
防災防犯対策室主幹	羽 場 浩一郎	市 民 課 長	青 木 由美枝
健康長寿課長	小 川 正 寿	子育て支援課長	二 宮 眞由美

産業支援課長	秋 永 亘 正	農業政策課長	加 藤 忠
土木課長	鈴木 英 樹	都市計画課長	近 藤 潔
市街地整備課長	宇佐見 恭 裕	下水道課長	花 木 喜久治
環境課長	堅 田 直 寛	会計管理者 兼出納室長	平 下 義 之
学校教育課長	樋 口 進	学校支援室長	坂 井 朋 弘
生涯学習課長	高 木 安 司	図書館長	濱 島 早代江
監査委員事務局長	松 林 淳	財政課長補佐	萩 野 昭 久
防災防犯対策室長	塚 田 力	市民課長補佐	杉 浦 由 季
健康長寿課長補佐	水 野 好 枝	子育て支援課長補佐	松 村 清 子
産業支援課長補佐	高 垣 茂 晴	土木課長補佐	野 村 勝 浩
土木課長補佐	星 子 恭 士	都市計画課長補佐	中 野 忠 之
下水道課長補佐	外 山 紀 元	環境課長補佐	青 山 康 徳
学校教育課長補佐	後 藤 明 紀	学校教育課長補佐	稲 熊 篤 子
生涯学習課長補佐	深 草 広 治	図書館長補佐	吉 澤 由 美
防犯担当係長	前 田 泰 之	消防庶務担当係長	山 田 恵 子
健康推進担当係長	望 月 典 子	農政担当係長	加 藤 直 美
農地担当係長	竹 内 正 佳	計画建設担当係長	北 川 宜 志
市街地整備 担当係長	松 本 裕 介	監査委員	古 橋 洋 一
監査委員	三 浦 桂 司		

5. 傍聴議員

毛 受 明 宏

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前10時開議

○決算特別委員長（近藤善人議員） ただいまから本日の決算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

各委員にお願いいたします。あくまでも質疑ですので、自己の意見や主観は入れず、一般的な質問にならずに、簡潔にお願いいたします。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から認定議案第10号までを一括議題といたします。

会議の進め方については、昨日と同様に、一般会計は款別に所管の部長等により説明を受けた後に質疑を行い、特別会計については各会計別に進めます。なお、一般会計の各款別の質疑終了後に総括質疑を行います。討論については特別会計の質疑終了後に一括して行い、採決は認定議案番号順に行いますので、よろしくお願いいたします。

きのうの続きの4款から始めます。

理事者の説明をお願いいたします。

加藤健康福祉部長。

○健康福祉部長（加藤育子君） それでは、4款 衛生費の健康福祉部所管の決算の概要について説明させていただきますので、実績報告書の56ページをごらんください。

1項1目 保健衛生総務費は、決算額1億916万3,217円は、前年度より約327万円の減額で、主なものは保健衛生人件費の減額のためです。

続きまして、その下、2目 予防費は、決算額4億5,291万731円は前年度より約1,487万円の増額となっています。主なものは、各種がん検診及びはつらつ健診の成人病診断等委託料及び妊産婦健診及び乳児健診委託料の増額となっています。

続きまして、不用額の主なものを御説明いたしますので、決算の概要の8ページ、衛生費の欄をごらんください。

予防費の委託料1,557万9,258円は、主に各がん検診及びはつらつ健診等成人病診断等委託料、予防接種委託料及び妊産婦健診及び乳児健診委託料の執行残であります。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 続いてお願いします。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、4款 衛生費のうち、経済建設部が所管します事業の概要説明をいたします。

実績報告書の61ページをお願いいたします。

3目 環境衛生費でございます。前年度比較し約1,150万円の減額であります。これは前年度、水上太陽光発電事業特別会計に1,000万円繰り出しを行ったことによるものでございます。

その下、太陽光発電システムの補助金交付事業では、太陽光発電システム等設置費補助金交付事業として、家庭用燃料電池の設置に対しまして補助をいたしました。実績は20件、合計で100万円の補助をいたしました。

その下、狂犬病予防対策事業では、狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防注射及び登録のための集合注射業務を市内延べ10会場において実施しました。実績は334頭でございました。

合併処理浄化槽設置費補助金交付事業により、生活排水により河川等の水質汚濁防止に努めました。実績は31基でございました。

次のページ、62ページをお願いします。

不法投棄、野焼き、悪臭・騒音等の監視のため、環境監視員2名による監視活動を実施いたしました。

次、63ページ、6目 公害対策費でございます。決算額は前年度と比較し約38万円の増でございます。主な事業は、公害対策事業として、健康や生活環境を保全するための河川等の水質調査を実施いたしました。

次、64ページをお願いします。

2項1目 清掃総務費でございます。決算額は約8,641万円の増額です。増額理由は、東部知多衛生組合の負担金が8,590万円の増額となったためでございます。主な事業ですが、2市2町を構成する東部知多衛生組合の負担金が増加しておりますが、これは新ごみ処理施設の建設工事により、負担金が増額しているためでございます。

次に、資源につきましては、区町内会及び子ども会に分別収集をお願いし、奨励金を交付しております。

次に、65ページ、2目 塵芥処理費でございます。決算額は約650万円の増額です。主な事業として、塵芥処理事業では、市民から出される可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬を行いました。また、清掃事務所では、粗大ごみの受け付け業務と玄関先への個別有料回収事業を実施しました。また、平成12年式の塵芥車を買いかえ、交換をいたしました。

下段、3目 し尿処理費でございます。決算額は前年度とほぼ同額です。主な事業はし尿の収集処理であります。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の8ページをお願いいたします。

中段の衛生費の中、環境衛生費でございます。委託料161万2,516円のうち、環境課所管分55万7,516円で、主なものは専用水路立入検査補助業務委託料です。これは、水道事業法以外の水道の検査を一般社団法人愛知県薬剤師会に委託するものでございます。

その下、負担金、補助、交付金266万7,386円は、主に合併処理浄化槽設置費補助金で、設置基数が見込みより少なかったためでございます。

次に、清掃総務費の委託料118万706円ですが、主に資源処分委託料で、回収する資源が見込みより少なかったためでございます。

次に、塵芥処理費の委託料509万4,418円ですが、主に塵芥収集委託料で、予算の執行残ということでございます。

その下、工事請負費205万6,200円ですが、主にごみ集積場整備工事費で、今年度は区長要望工事がなかったためでございます。

以上で経済建設部が所管をいたします4款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 続いてお願いします。

石川市民生活部長。

○市民生活部長（石川晃二君） それでは、4款 衛生費のうち、市民生活部所管の御説明をいたしますので、実績報告書の62ページのほうをお願いします。決算書のほうは136、137ページのほうになります。

実績報告書の中段あたり、米印に火葬場使用件数でございます。火葬場等使用委託料は882万円でありました。火葬場の使用件数は613件、そのうち知立市の火葬場の使用は241件で、全体の39.3%ございました。

続きまして、決算の概要の8ページ、不用額の状況を説明いたします。

概要の8ページ、4款 衛生費、委託料のうち105万5,000円が火葬場等使用料委託料で、見込みより少なかったことによります。また、昨日、質問のありました火葬料の滞納の件は、この後担当課長より説明させていただきます。

以上で、4款 衛生費のうち、市民生活部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 青木課長。

○市民課長（青木由美枝君） 昨日、宮本委員から御質問のありました意見書の26ページ、諸収入のうち、火葬場等使用実績徴収金の収入未済額の内訳をとということでした。

18万円の内訳は、現年度分が1件で3万7,000円、そして、滞納繰越分が4件で14万3,000円となっています。前年度収入未済額は22万2,000円で、これは全て滞納繰越分でしたので、滞納繰越分としては収入もありますので、対象となる人は減っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 決算の概要の44ページをお願いします。

上段の産後ケア事業について伺いたいんですが、当初予算額に比べて決算が約7分の1ぐらいの額になっていると思います。これは、主に宿泊型産後ケアの利用者がいなかったことが主な原因なのではないでしょうか。また、もう一点お願いしたいんですが、財源内訳、予算のところと比べると決算の県支出金の割合が変わっているんですが、この理由も教えてください。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 委員のおっしゃったとおり、まず、産後ケアの予算が、実績がありませんので歳出がされていません。それが54万、当初では予定をしておりました。

それから、養育支援（育児・家事援助）のほうでも、当初予定をしていた予算が48万円を予定しておりました。歳出として14万8,800円の歳出でしたので、今回の決算額としては14万9,000円にしました。その後、歳入のほうですが、養育支援（育児・家事援助）の分の国・県の3分の1だけが歳入として入りますので、そちらのほうの3分の1を計上しております。上の国庫支出金と県支出金ですが、当初の予算では3分の1、養育支援訪問についての県支出金の3分の1を計上しております。国庫支出金については産後ケア事業も含めていますので、金額が高くなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 今の質問の関連なんですが、平成29年の実績はこのようだという事なんですけど、利用の奨励を行ったがこのようだという事で、今後は、宿泊型産後ケア、養育のほうも予算よりも少なかったということで、この2件はどのように支援を進めていく予定かお伺いいたします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まず、宿泊型産後ケアにつきましては2カ所、市外

に依頼しております。利用を、保健師が訪問して面接した方で勧めた方は4名いましたが、その方たちについては家族の、本来遠くで援助がいただけないという方もちょっと遠くから来ていただいたり、御主人が育休がとれないというところを御主人が育休をとったりというふうで、家族で解決を、29年度にはしてくれました。今後についても、必要な方には保健師は声をかけていくという方向にしております。養育支援（育児・家事援助）につきましても、必要な方には7人お声かけをし、その方全てが御利用しております。今後も保健師が必要な方にはお声かけをし、丁寧なつき合いをしてつなげていくことと、あと、医療機関との連携でも今後つなげていきたいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 決算書133ページ、実績報告書の56ページの保健衛生総務費の中の保健衛生事業で、不妊に悩む御夫婦の方への経済的負担の軽減ということで不妊治療費の助成をということでしたが、今回何組ぐらいの御夫婦にそれを助成されたのか、そして、その中で実績の上がったといえますか、お子さんが無事できた方の件数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮真由美君） 52名の方に助成をしております。妊娠された方は、12名の方が妊娠をされております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の59ページ、健康推進事業の一番下のところに、とよあけ健康21計画の推進のため市民の健康寿命の延伸というふうに書いてありますが、健康寿命は、29年は28年と比較してどのように変わったか、男性・女性で分かれています。そのようお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 健康寿命については、市だけでは出せませんのでわかりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の145ページです。塵芥処理事業なんですけど、29年度は沓掛の堆肥センターが事業と施設もなくなっていると思うんですが、その分ごみの、燃えるごみだと思っんですけど、量の変化はどうでしょうか。ふえたかどうか、わかったらお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田環境課長。

○環境課長（堅田直寛君） 可燃ごみの量について申し上げます。平成28年度が、可燃ごみが1万1,484トン、平成29年度が1万1,604トンで120トン増加しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの続きで済みませんが、その一番下のところで、健康マイレージ事業を継続実施したというふうに書いてありますが、これに参加した実績、それから、マイレージ事業を行ったことによる効果はどのように出ているのでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 健康マイレージについては、10月の広報とよあけでPRするとともに、各種集団検診の会場で地域の集まりの方に発行はさせていただきまして、1,800ほど発行させていただいております。実際に取り組んでいただいた結果として、最終的に引きかえに来られた方が45人になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 効果については。

○健康長寿課長（小川正寿君） 取り組んだ方がふえているという効果があると思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の57ページをお願いします。

真ん中より少し下のところにB型肝炎の予防接種、これは28年度に新設されたもので2回目ということなんですけど、これは1回目、2回目、3回目というふうに記載しておりますけれども、3回やる必要があるのかどうかという、それが普通の予防接種のやり方なの

かどうかということと、それから、もしそうだとすると、この右側の数字のほうですけども、3回目の数字のほうがふえているんですね。普通だとこれ、1回目、2回目、3回目となると、同じ数か減っていくかということだと思うんですけど、このふえておるのはどういう意味でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まず、B型肝炎の接種ですが、3回やるのが定期予防接種としては位置づけられております。この3回目は、もちろん転入・転出というところもありますし、去年度1回・2回目が終わって、今年度3回目を打ってみえる方もみえます。前年度1回目・2回目を打たれて、翌年度3回目を打たれる方もみえますので、数的には必ず減るということとは言えないです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほど、郷右近委員が質問した続きでお願いします。

実績報告書の64ページなのですが、先ほど可燃ごみの量が120トンほどふえたということだったんですが、64ページの資源回収量の実績を見ると、27年と28年と比較すると、廃乾電池と小型家電はふえているんですが、あとのものは減少しています。特に紙類のごみが、前年比でいうと89.1%となっていますので、これは資源ごみの回収しているものが、回収すべきものが可燃ごみの中にまじっている量がふえたということなんでしょうか。それとも、ほかのところでも回収するようになったものだからその分が減ったのか、その辺の分析はどのようにされているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田環境課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今、委員がおっしゃったとおり、私ども、毎年組成調査をやっております。その中には一定量の紙類がどうしても入っております。ただ、こういったものも、今後減らしていくというのは当然なんですけれども、あと、民間も含めて、そういった資源の回収場所がふえているというのも事実なんですけど、こちらについての数については、私ども、把握できておりませんので、正確な数字については、申しわけありませんが、ちょっとわかりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 関連でお願いします。

上のところの奨励金のほうはプラス37万ほどふえているんですが、実際のところ、回収しているその量は減っていても、回収している単価も29年度は弱かったですので、余り奨励金のほうは変わらなかったのかなと思うんですけど、これ、全体的にはどの町内も子ども会も、区や町内会でやっているものも、全体的にその回収量が減っているということによろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 回収量につきましては、全体で申し上げますと、町内会のほうが、28年度が2,194トン、これが29年度になりますと2,008トンになっております。子ども会も、28年度が575トンが29年度が505トンという形で、量としては減っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の同じところですけど、奨励金の単価の表のところ、前年はあった雑瓶1本5円というのがなくなっているんですけど、これは全部カレットとして処理するようになったということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） おっしゃるとおり、今までは雑瓶というのも一応売っていたんですけども、瓶のほうの売却のほうができなくなったということで、カレットと一緒にという形になりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 宮本さんがちょっと、きのうフライングで聞いた部分で、済みません。ネウボラなんですけれども、保健センターの……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ページ数をお願いします。

○山盛さちえ委員 子育て支援なので57ページになりますか。コーディネーターを配置して、地域担当保育士さんとともに切れ目のない支援をしていくということで保健センターのほうに一元化されたわけですが、支援プラン計画の作成件数を教えてください。それか

ら、28年度と比較してどういう状況になったのかもあわせてお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） ファミサポではなくて、ネウボラのほうの保健師の支援件数でよろしいでしょうか。

プランの件数は79件プランを立てております。前年度よりはプランの件数は増加しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 きのうフライングしていますファミサポの件をお伺いします。

去年4月に移設をしていますけれど……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ページ数。

○宮本英彦委員 ごめんなさい、59ページです。実績報告書の59ページ。

ファミサポが保健センターに移設を去年していますけれど、その理由がワンストップサービスというのもあったとっております。サービス強化という観点だと思うんですけど、参加人数が、臨時保育を除いて減っているんですよね、かなり。この理由についてお伺いしたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まず、ファミサポのほうで、前年度が2,760で、29年度が2,438で、減った理由ですが、毎日利用していた小学生の子が中学生になったということで、その利用が300日程度なくなりました。それがファミサポの利用件数の一番大きい要因と考えています。ママサポにつきましても、前年度101件が53件になりました。こちらのほうも双子で御利用されていた方が1歳になったということで、利用をされなくなったということで件数は減っています。実件数としては、ママサポについては10件、今年度については10件で、昨年度については9件が実件数、おうちの世帯数になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書の61ページをお願いします。

上から米印の2つ目、環境整備事業の空き地等の草の除去の草刈り機の貸し出しなんで

すが、この免除分の151台というのは、公園とかそういった市の施設を市の有志たちが刈るとか、そういったときの場合の免除なんですか、ほかのことなんですか、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） こちらのほうは、免除分につきましては、区町内会がそちらの地域のほうでやる作業ですとか、あと、アダプトに登録していただいている方、そういった方が主になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 保健センターの業務が、子育て支援にかなり力を入れて、成果が上がってきているというのは何となく感じるんですが、それに引きかえ、健康推進のほうがいま一つで、めざすまちの姿のまちづくり指標の11番に、医療機関にかかっていない市民の割合というのがあって、それが、去年が14.1%が11.1%ということで、客観的な実績値が下がっています。先ほど、市民の健康寿命については市ではわからないということだったんですが、そういうことからいくと、今のお医者さんにかかっていない人の割合が減ったということは、健康寿命が下がっているということにもつながるような気がするんですが、いろいろな健康推進事業、ここに上げられています、いま一つ効果というのは薄いんじゃないかというふうに思うんですけど、そういうことはないんでしょうか。子育てに力を入れることはいいんですが、こちらがちょっと手薄になっているというようなことはなかったでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） まちづくり指標のめざすまちの姿、11番の4番の客観指標、医療機関にかかっていない市民の割合ということで、11.1%で下がっているということがございます。これについては、インフルエンザの流感とか、年によっても若干違うところもございますので、1年ごとにとると、やはり医療機関にかかった方が多いということは、年によってのばらつきはあるんだろうと思います。去年は特にインフルエンザの流感がありましたので、そういったところでは影響があったのかなというふうには感じております。ほかの事業の効果というか、成果については、なかなか目立って、これをやって上がるかということはありませんけれども、できることをこつこつと、いろん

なことを検討しながらやっていきたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績の62ページ、火葬場のところでお伺いしたいというふうに思います。知立市の件数は昨年とほぼお変わりはないというふうに思っているんですけども、これは知立市を希望してもこれ以上使えないのか、それとも御希望だったのか、その辺のことはわかりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

青木課長。

○市民課長（青木由美枝君） 御希望に添えないということはございませんので、実際にどこを利用するのかというのはその方の御希望どおりで集計したところ、こういうふうになったという結果です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 実績報告書の61ページ、狂犬病予防対策事業について伺います。これ、集合の注射会場でやっていたと思うんですけども、年々、若干ですが、これは減ってきていますけれども、これ、全体のどのぐらい、何%ぐらいなんですか、お聞かせください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 全体で申し上げますと、注射の実績が約3,140頭ございました。そのうちの348頭ということなので、ごめんなさい、ちょっとパーセンテージは計算していないのであれですけど、約10%弱だと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 新規登録についてもちょっとお聞かせください。

○環境課長（堅田直寛君） 済みません、後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 狂犬病の予防接種の61ページの関連なんですけど、狂犬病の予防接種はで

きるだけ提携している病院のほうでというふうに表に書いてある覚えがあったんですが、実際、その3,140というのは多分登録してある人数分、100%のちゃんと受診ができていますのかどうか。登録している犬の件数と狂犬病の割合はどうなっているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今回の御質問なんですけれども、大体私どもが登録されているのが4,474頭で、注射実績は先ほど申し上げた3,140頭ということで、約74%という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 打っていないところは、接種してくださいよとか、何かそういう通知は出しているのでしょうか。何もなしで終わってしまっているのか、その辺はどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 毎年はがきのほうで注射を打つように、こちらのほうから御案内させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の58、59ページです。母子保健事業の真ん中から下の健康相談のところを見ていくと、なかよし教室も開催回数も人数も増、なかよし教室の相談も増、発達相談7名というのも新しく入っていますし、臨床心理士面接相談といったものが非常にふえて、努力してみえるなど感じます。健康テレホン110番というのが、これも大幅に人数がふえていて、59ページの成人のところの健康相談でも健康テレホン110番がすごく伸びているんですが、何か工夫された点はあるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まず、健康テレホン110番のほうですが、数の拾い方をどうするかということがあります。そこで、29年度は予防接種だとか、検診のところから健康の相談を受けたものも全てカウントをするようには心がけて、今回の件数になりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 先ほど、後ほどお答えすると申し上げた早川委員の御質問についてお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 一色議員ね。

○環境課長（堅田直寛君） ごめんなさい、大変失礼しました、一色議員です。大変申しわけございませんでした。済みません。

改めまして、一色委員の御質問についてお答えさせていただきます。

新規の登録の件数ということの御質問だったと思いますけれども、60件になっております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどのファミサポの続きでお願いしたいんですが、実績報告書の59ページです。

利用が減っている部分の違う観点からちょっと聞かせていただきます。提供会員、利用会員、両方会員とあるんですが、28年度と29年度で、その人数の変化というのはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まず、提供会員につきましては、29年度で実で171名、前年度が166名ですので、提供会員は5名ふえたということになります。依頼会員につきましては、29年度末が617、28年度末が642人で、依頼される方が30件減っています。両方会員という、提供も依頼も大丈夫ですよという方が、29年度末が24件、28年度末が32件というふうでなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 利用される会員の方もふえたということで、提供会員の方のローテーションの関係で、なかなか利用をしたいんだけど、そこに当たる時間の人がないとか、そういう部分も若干はふえているのか、そうではないのか、その辺もちょっと教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 委員のおっしゃったとおり、毎日夕方というよりは集中する時間がありまして、どうしてもお応えできないという件数があるのは事実です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の29ページのところですが、有機循環推進事業の主な支出項目のところで、前年度まではなかったボカシというのがあって、3万3,480個とあるんですが、これ、この29年度から配り始めたものですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） こちらにつきましては、29年度からではなくて、以前から実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 前年度までは載っていなかったのは、どういった理由からでしょうか。何か支出項目が変わったとか、そういうことでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今、委員がおっしゃったとおり、ボカシについてはこれまでは載せてなかったのは、ほかにも大きい事業がございましたので、例えば昨年度まで載せていたやつで生ごみの収集運搬とか、そういったもっと金額の大きいものがございました。ただ、御存じのとおり、堆肥センター廃止によってこういった事業がなくなったので、大きい事業ということで改めて加えさせていただいた次第でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 大きい事業でないから、といっても実は金額、これ、220万と結構この全体の中でいうと大きいほうかなと。前年度でいっても200万超えているのはそんなに多くないので、それで、金額はやっぱり同じぐらいかかっていたということですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 平成28年度が220万8,000円ですので、ほぼ同額という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 概要の43ページと、ちょっと関連するかもしれませんが、実績報告書の56、57をお願いします。

概要の43ページの下段なんですけど、ロタウイルス予防接種助成事業、当初、出生数の約8割を見込んでいたところ、思いのほか多くて86%ありましたと。これに関連してなんですけども、実績報告の56、57の予防接種事業の一覧がありますよね。この中でも見込みより多くなっていた部分もあるかと思うんですが、ワクチンの確保とかができなかった部分とかはありますでしょうか、ないでしょうか。それだけでいいです、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） ロタウイルスについては、ワクチンのほうは聞いておりません。ただ、29年度はインフルエンザのワクチンが不足して、始めた時期には少しワクチンがないために、接種が10月にはできなかったということはございました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の58ページの上から3段目のプレママ交流会なんですけど、これ、月1回を予定していたんですけども、11回になったその理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 予定では12回で、事前に予約をしていただきますので、予約者がいないときは職員が行きませんので11回になりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 61ページの環境衛生費に入るとは思いますが、ここには特に事業名とし

ては書かれていませんが、アダプトプログラムに参加した方へのごみ袋の配布枚数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） ごみ袋の配布枚数については、現状ではちょっと、数字としては把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実は、まち・ひと・しごとの中にこの事業名が入っていて、ここには枚数が実は書いてあって、910枚ということで、昨年よりも減っているものですから、それをちょっと確認したかったんですが、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 大変申しわけありません。後ほど確認させていただきたいと思えます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の59ページ、成人事業一覧の中にありますCKD対策についてお伺いします。

対象が特定健診の腎臓検査で該当する人ということで、27年が73人、28年が82人、29年が119人というふうにふえています。これのもともとの分母、本来この特定健診で検査を受ける、該当する分母が知りたいんですけれども。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。後ほどですか。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 後ほど回答させていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 アダプトプログラムについては、まち・ひとではなくてまちづくり指標のほうでしたので、済みません。お願いします。減った理由については説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

○環境課長（堅田直寛君） ごめんなさい、ちょっともう一度質問の内容をお願いいたし

ます。

○山盛さちえ委員 まちづくり指標の中にアダプトプログラムに参加した人に配布したごみ袋の枚数が書かれていて、30年度実績が910枚ということで、前年が1,180だったのでかなり減少しましたが、その理由について説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

○環境課長（堅田直寛君） こちらにつきましては、今のお話なんですけど、環境課として提示した数字ではないものですから、ちょっとごめんなさい、今お答えできないです。申しわけありません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ファミサポのことでもう一つ聞かせてください。

どうしても、先ほども答弁にありましたが、平日の、例えば夕方の方の特定の時間に集中するというのは私もよく聞くんですが、そこでサービスを受けたいんだけどという相談も受けたこともあるんですが、なかなか通らないと。29年度に、どうしても時間が重なるとか、特定の、そういうところで何か工夫をされたということはあるんでしょうか。もう満員でするのでこの曜日は無理ですよというふうに単純に断っているのか、その辺はどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） まずスタッフが、職員が、当たれる方、その時間、稼働ができる方には全部の、電話は全てかけます。そこでやはり断られると、お断りのお電話をさせていただく。その場ですぐ、その時間でやれませんというお答えはせず、当たれる方、動いていただける方にはお電話を入れて、対応できるような配慮はしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 先ほどの回答でございますが、特定健診の母数としては1万1,524人ございまして、そのCKD予防プログラムに対象となった方は411人でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績の58、59ページの中で、先ほどお伺いされたんですが、健康相談の中で、健康テレホン110番と、59ページの健康相談の中の健康相談という項目なんですけれども、これは、健康テレホンは市のほうからお電話をした数、それとも向こうからかかってきた数、それと、健康相談も向こうからいらっしゃった数ということでよかったですでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 今、委員がおっしゃったように、相手の、市民の方からお電話がかかってきて、子どもの関係とか育児については健康テレホン110番、大人の方については健康相談のほう、電話のほうに入れてあります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 概要の23ページの健康診断の集団と医療機関のトータルの件数が書いてあります。健康診査の推移か。29年度はトータルで2万7,965人かな。それで、昨年28年度よりは減って。

（円の声あり）

○宮本英彦委員 円、人だよ。それで、28年度よりは減って、27年度よりはふえているんですけど、これ、何となくですけど、低下傾向にあるような気がするんですけど。その内訳を見ると、集団よりは医療機関のほうがどんどんふえているんですよ、コンスタントに。健康診断が減っていくという傾向にあるのかどうか。仮にそうであるなら、どういうふうな見方というか、評価をされているのか。健康診断を進める、PR不足とか、ほかの何か要素があるのかどうか、そこら辺はどういうふうに考えてみえるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 健康診断については、議員おっしゃるとおり、集団から医療機関方式に移行が顕著に起こっております。全体として減ってきているということもございます。これの分析でございますけれども、最近、女性も高齢者も働く方がふえてきているという状況がございます。職場で健診等をやられる方もふえてきているのもあるのかなというふうに思っております。減ってきているものですから、受診しやすいような、同日にいろんな受診ができるだとか、そういったことは検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 正確に、減少する、この要因という分析は非常に難しいとは思いますが、基本的に集団が減ってきているということは、集団のところに行くという時間と日時がなかなか合わないというケースもあるのかなど。そういう点からいけば、医療機関というところに健康診断、行かれる人のほうが、これからもどんどんそちらのほうがふえると思いますので、そこら辺を含めたPRが必要だと思はれますけど、そういうところについてはどういうふうにお考えでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） ニーズがそちらに移行しているということですので、医療機関方式もPR、力を入れてやっていきたいとは思いますが、財源的にはどうしても医療機関方式のほうがかかるものですから、そこも含めて、今後こういった形で受診いただくのか検討をしたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 その集団のほうの、28年と29年度を比べると、これ、人数が1,100人ぐらい減っておるんですね。なんだけれども、委託料としては逆に100万円ぐらい、100万も行かないか、60万ぐらいですか、ふえているわけですが、これ、人数が減って費用がふえるというのは、健診の1つの単価の問題もあると思はれますけれども、実施機関との交渉の中で単価が見直されたとか、そういうことがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 集団についても単価が若干上がっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の59ページ、先ほどのCKD対策の件について、もう一度お聞きします。

特定健診の腎臓検査で該当する人が411人、そのうち参加された方が119人ということ

で、28%の方が29年度は参加されました。過去のちょっとパーセンテージまではわからないんですけども、このCKD対策が、上のところにも書いてあるんですが、新規の透析患者数の減少を目的に、地元医師会と共催でこういう教室を開いているということですが、新規透析患者数は減少しているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 具体的に透析につながったか、この方々につながったかどうかの把握まではしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の60ページをお願いします。

各種のがん検診が載っておりますが、このうちの、一番上にあります胃がん検診のエックス線の医療機関方式についてと、それから、その下の乳がん検診の同じく医療機関方式、それから1つ飛んで、肺がん検診の医療機関方式についてちょっとお伺いをいたします。

国のほうでがん検診の手順というものを示しておりまして、そのとおりやらないと発見漏れが起きるということで、これは社会問題にもなっております。それで、今申し上げた3つのがんで、例えば胃がん検診ですと、エックス線検査をしたらバリウムの読影は2人の医師が行い、うち1人は日本消化器がん検診学会の認定医とするというふうに決まっております。そういうふうになっているかどうかということも以前に一般質問で行いましたけれども、確認ができていないので医療機関で確認するということでしたけれども、これはそのように行われているのでしょうかということと、その下の肺がん検診についても、肺がん診療に携わる医師、もしくは放射線科医を含めるという条件がついておりますが、そのように行われているかどうか。さらに、しまった、1つ飛んじゃったな、乳がん検診については、講習会の評価試験でA・Bの評価を受けた医師という、これも条件がついておりますが、そういったことについて医師会と協議をするということでしたけれども、どのようになっているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 医師会との協議は始めておりまして、今、現状について把握をしている状況でございますので、今現在では把握しておりません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく健康診断の受診者の件ですけれども、普通の特定健診、それから、がん検診において、要検査とか、それから、医療の再検査が必要な方の割合がどのようになったか、その人たちがきちんと再検査とかそういうのを、再度指導などを受けた方が、前年度に比べてふえてきているかどうかということをお教えください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。時間かかるようでしたら。

○健康長寿課長（小川正寿君） 後で答えさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 先ほど山盛委員から言われた、めざすまちの指標の中の6番の中のアダプトプログラムのごみ袋の枚数でございます。これは先ほど、環境課長のほうが、いわゆる直接ではなくてということで、これにつきましては、土木課と都市計画課がそれぞれ、いわゆる道路だとか公園だとか、そういうのに対しまして参加していただいている方にお配りをしております。ちなみに、土木課のほうで29年度670枚、それから、都市計画課のほうで240枚ということで、御参加いただいた方にお配りをしておるといってでございます。

それともう一点、先ほど、一色委員の、ちょっと訂正だけさせていただきます。登録数60頭と環境課長、お答えをさせていただいたんですが、これは狂犬病の予防注射のときに登録していただいたのが60頭で、総計では251頭でございました。済みません、私のほうで訂正させていただきます。

（発言する者あり）

○経済建設部長（相羽喜次君） 済みません、ちょっと差は今、後ほど差についてはもう一度調べさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の60ページ、ここで伺っていいかどうかちょっとわからない。というのは、予算書でどこに含まれているのかちょっとわかりかねたので、それもお聞きしたいと思うんですが、一番下の欄で災害時看護師等専門ボランティア、54名の方に登録をいただいているんですが、この方々が、看護師等となっておりますので、どんな専門の方が登録していただいているのか、あと、市内の方でいらっしゃるのかも教えていただきたいと思っております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 看護師、助産師、保健師という資格を持っている方になります。それから、市内・市外については、人数は把握していませんが、市外の方でも、市内で働いているよという方がみえますので、その方たちの、市内・市外の方もみえます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 先ほど後藤委員からの御質問でございますが、検診後のところの精検者の受診率について、済みません、山盛議員からの御質問ですけれども、精検者からの受診率ですけれども、各検診について、28年度よりは、若干であります。要精検者の受診率は上がっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の60ページ、先ほどの胃がん、肺がん、乳がんの関係ですけれども、確認中ということですから、この3つのがんだけでも、医療機関で受診してみえる方が、この参加人数のほうで見ると7,000人ぐらいいるんですね。それで、この手順どおりに行わないと、がんの信憑性の問題にかかわるといって、そういうことで問題になっておるわけですから、昨年度のうちにちゃんと調査をして、それで、今年度の検診には、この要件を満たさない医療機関は外すとかというような手が打ってなければならないと思うんですけれども、これ、医療機関に聞けば済むことなんですけど、どうしてそんなに時間がかかっているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○健康長寿課長（小川正寿君） 時間としてはかかっているというふうに感じられるかもしれませんが、今後、各医療機関にチェックシートを配って回答いただくような段取りをしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の135ページの下から4つ目の有害鳥獣駆除なんですけど、こ

れ、捕まえたのはどういうものなんだろうなということなんですけど、ウェブを見るとドバト、カラス、ヌートリアなどの有害鳥獣の駆除をしますと書いてあって、ヌートリアなら特定外来種なのでわかるんですけど、ハトとかカラスだとしたら、これ、非常に、数匹捕まえてもしようがないだろうと思うんですけど、実際には、あと、これを捕まえたワナとか殺処分とか書いてありますけど、どういうものを捕まえているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 主にハクビシンとかタヌキとか、そういった害獣になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の137ページ、資源処分委託料の廃乾電池処理処分委託、これが、指名から随8に変更して、金額も倍の60万ほどふえているんですが、この理由について説明していただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） まず、金額が倍になっているのが、28年度は廃乾電池の処理を1回しか行っておりませんでした。29年度は2回行ったということで2倍になっておるといのが実情でございます。

あと、随8の理由なんですけれども、今、廃乾電池の処分ができる事業者が全国で3社ございます。そのうちの2社が実際リサイクルできるというふうでして、2社で随契をやる予定であったんですけれども、1社が指名辞退してまいりましたので、やむなくこちらの随8でやらさせていただいたという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 歳入のところで質問したんですけれど、款のところで質問してくださいということです、もう一度款のところで質問させていただきます。

これは意見書の22ページの衛生手数料というところなんですけれども、予算現額よりも実績、収入済額が多いというのは、入のほうですから、それはそれとしていいと思うんですけど、予算よりも減っているという、この衛生手数料、972万が922万ということで減っ

ているんですけど、これはどういう理由で減っているのか。あるいは、ここでいう衛生手数料というのは、主な理由についてお答えください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

時間がかかるようでしたら、後から。

会議の途中ですが、ここで10分間の休憩といたします。

午前 1 1 時 2 分休憩

午前 1 1 時 1 2 分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 先ほど、休憩前の宮本委員の御質問についてお答えさせていただきます。

衛生手数料なんですけども、こちらの衛生手数料には、し尿くみ取り手数料と粗大ごみ収集手数料、狂犬病予防手数料の3つございます。し尿くみ取り手数料が382万1,000円から353万7,000円、粗大ごみ収集手数料が335万9,000円から320万円、狂犬病予防手数料が258万8,000円から248万1,000円と、それぞれ微減ずつで、この3つ合わせて先ほどの金額の減という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の3目の環境衛生費の太陽光発電システム等の部分です。エネファーム……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ページ数を。

○郷右近 修委員 失礼しました。ページ数は、実績報告書の61ページの環境衛生費の太陽光発電システム等の設置補助のところで、前の年度までは、太陽光発電パネルの補助の仕組みで、たしか60万円の実績が上がっていたと思うんですが、29年度はエネファームということで100万円ということですが、住民の皆さんの応募の様子、好評かどうかと、あと、何か意見なども集まっているようだったら教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 先ほど、質問をいただきました金額が、昨年度が60万円、今年度が100万円ということなんですけども、これはそれぞれエネファームということで変わ

りはございません。特に今回につきましては、私ども、20件枠を全て使い切ったということですので、特に意見という形ではいただいているんですけども、好評であるというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の59ページ、健康教育の中の男の料理教室なんですけど、これ、私の料理教室とちょっと違いますけれど、1回の開催、14人参加で、費用は、多分ここだと思えるんですけど、これは決算書の135ページ、9万円、135ページの食生活改善事業委託料がこの男性料理教室の委託料なのかどうかという点と、これの費用というか、かかっている費用、どういうのに使われているのか、お伺いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 男の料理教室ということなんですけども、こちらについては食生活改善推進員の委託料の中で事業を行っていただいているものでございます。そして、これについての食材料として、費用としては4,200円ほどかかっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、これ、参加者はただなんですか。食材費も市が全部負担しているという、そういう意味ですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小川課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） お一人300円いただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 先ほどのアダプトプログラムのごみ袋の件でございます。前年度と比較しまして60枚ほど減はしております。ただ、これ、配布はそれぞれの課でしておりまして、実際減じた理由というのは、とりに来た時期のこともございまして、例えば年度末だとかそういう時期に来た場合に、若干各年度で差が発生するのではないかなということでございます。ただ、今、厳密に、こうであるからこうであるというふうなこと

までは、ちょっと各課では把握はしておりません。終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の183ページ、4款 衛生費の豊明市堆肥センター解体工事について聞かせてください。

これは1,760万円の契約で、予定価格が1,765万です。これ、2回目の入札で99.6%の落札率でした。括弧がついていますので、これ、変更の工事があるって、最終的には100.3%と予定価格を超える変更となりましたが、その落札率も高かったんですが、変更もありましたが、これ、要因というのは何だったんでしょうか、その変更の要因。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 変更理由なんですけども、こちらのほう、解体工事を行っている最中なんですけども、目視できなかつた地中から、コンクリートの固まりが出てまいりました。こちらについての処分費という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の135ページの成人病検診等の委託料についてお伺いいたします。

上から2つ目の節目歯科健診の460万円余ですが、592人が健診を受けられたので、単純に割ると7,760円になります、1人当たりが。それで、そのもう少し下のほうにおりてくると、妊産婦の歯科健診がありまして、これ、66万円ほどで、144人で、これも単純に割ると4,579円ということで、歯科健診なので、妊婦であっても節目であっても、そんなに内容に違いがあるというふうにはちょっと思えないんですが、単価にすると7,800円ぐらいするのと4,500円ということで、1人当たりが随分と違うんですが、これはどういうことなのか説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 妊産婦歯科健診は、パノラマ撮影というレントゲンのない歯科健診と歯科指導だけになります。委員がおっしゃったように、委託料が4,579円、それから、上の節目歯科健診については、必要な方はパノラマ撮影というレントゲンを撮られる方もみえますので、単価が2種類あります。委託料として、パノラマをやらな

いは4,579円、パノラマをやる人が8,000円、ちょっと済みません、正確には8,000円前後したと思います。ちょっと確認します。後ほど単価だけ答えます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 先ほどの堆肥センターの件でちょっと。コンクリートがらが出てきたということですが、コンクリートの固まりが。農地であったとするとそういうのはあり得ないだろうと思うんですけど、そうすると、例えば建設時に、整地するときに紛れ込ませてそういうものを処理してしまったなどということもあり得るのかなかというふうに思うんですが、なぜそれが出てきたかというのは、原因究明というのはされたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） こちらのほうは施工と、今回解体工事、やった業者は一緒になっております。そちらのほうにも当然確認はしております。あと、地権者の方にもお伺いしまして、そちらのほうの記憶等も含めて確認したんですけども、どちらもこちらをやっていないというお話でしたので、現状ではちょっとわからなかったということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 先ほどの歯科健診の単価ですが、パノラマがある場合は8,002円になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の136ページの一番下ですけれども、自動車騒音等常時監視業務委託料、これは大幅にふえているんですけど、これ、予算のときに聞くと、5年に1度デジタル地図の入れかえがあるということだったので、それが理由ということでもいいのかどうかというのが1点なんですけど、まずそれを確認したいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今、委員がおっしゃるとおり、こちらのほうは5年に1度のデジタル地図の更新での金額の増となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 そうすると、前回と比べて全く、この説明のところが一字一句変わっていないんですよね。そうすると、例えば今回であれば、最後のところにデジタル地図入れかえとかと書いておいてもらえればもうわかるわけなんですけど、全く委託内容が同じで金額がふえているというふうに見えるわけですね。

これ、前も何度かお話ししたことがあるんですけど、前と明らかな金額が変更するような理由があるときには、こういうものを書いておいてもらえれば委員会の進行もスムーズですし、いちいち確認しなくても済むということもありますので、これはぜひ副市長にも聞いておいていただいて、ここの款だけの問題だけじゃないと思うので、そのあたりはぜひ気をつけていただきたいと思うんですけども、どうお考えでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

坪野副市長。

○副市長（坪野順司君） 委員の言うとおりに思います。私どもも、やはり新しくしたもの、加えたもの、なくしたもの、今までと同じものというのは、きちんと明記してやれというふうに指示しますので、これからそういう形で改善していきます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの節目健診の歯の関係なんですけど、そのパノラマ撮影というのは、どこの自治体でも節目のときにはセットのメニューに入っているものなののでしょうか。どうしてもあったほうがいいものならば、この単価で残しておく必要があると思うんですけど、節目の場合は、受診者は無料なので、どうしますかと言われるとお願いしますとなっちゃうのかなとか思ったので、節目健診にとってパノラマ撮影が不可欠なものなのかどうか、他市町と比較してもどういう状況なのか、把握していらっしゃったら教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○子育て支援課長（二宮眞由美君） 必ず全ての市町村がやってはいません。ただ、今はパノラマ撮影を近隣でやっている箇所はふえてきています。尾張旭とかは入っています。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、職員の入れかえのために、5分休憩といたします。

午前11時24分休憩

午前11時29分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

5款 労働費について説明願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、5款 労働費の説明をいたします。実績報告書の66ページをお願いいたします。

1目 労働諸費でございます。決算額は約177万円の減額でございます。減額の主な理由といたしましては、勤労会館電動式移動観覧席、照明等の改修が前年度に終了したためでございます。主な事業といたしましては豊明勤労会館の管理事業で、勤労者等の教養と文化及びスポーツの振興を図るために建設された勤労会館の管理に努めました。また、歳入のところで、宮本委員から御質問がございました監査意見書の22ページ、労働使用料について、この場で先にお答えをさせていただいております。

まず、平成29年度につきましては、会議室の1室を地域包括センターに占使用することにより、手数料が減額をされるというふうに予算を見込みました。予算につきましては、前年度に比較しまして約80万円予算減をさせていただきました。実際、決算につきましては、この部屋を使ってみえた方につきましては他の部屋を借りていただいたということで、実際使用料としては15万円の減に終わったということで、トータル的には減なんですけど、余り大きくは減らなかったということで、予算現額に比べてふえたということがこの理由でございます。

以上で5款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の66ページについてです。これは、29年と28年の利用者数を比較すると、2,000人ほど減っているというふうな形になりますが、先ほどの説明の中でも地域包括が入ったということで、1階のところの会議室が使えなくなったと。29年度で、2階の和室と会議室もあるんですが、その利用率というのは上がったのでしょうか。そちら

を聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永産業支援課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 和室につきましても利用率のほうは上昇しております、28年度の比較ですと、第1教養文化室というものがあるんですが、それは283名、第2教養文化室が168名の増となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 会議室の名前は何て言うんだっけ、研修室1・2でしたっけ、そっこのほうはどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 第1研修室につきましては前年度比1,474名、第2研修室につきましては前年度比575名の増となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 関連でなんですが、利用促進のための周知というのは、29年度されたんでしょうか。前年どおり、今までどおりの感じだったんでしょうか、その辺も聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 今までどおりの周知としております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 これ、1階のスペースは会議室もなくなって、地域包括さんが入りますので、地域の区だとかNPOに委託を管理するというようなことも検討は、29年度されたんでしょうか。また、そのままの運営方式で29年度はということなんでしょうか、その辺の、検討されたかどうか、答えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 特にそういったことの検討まではしておりません。
以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。
(進行の声あり)

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて、5款 労働費の質疑を終わります。
続いて、6款 農林水産業費について説明願います。
相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、6款 農林水産業費の決算概要につきまして、
実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

実績報告書の67ページをお願いいたします。

1目 農業委員会費でございます。決算額につきましては約6万円の増額でございます。
主な事業といたしましては農業委員会の事務で、農業委員会総会を毎月1回開催し、付議
案件を処理いたしました。また、農業者年金事務では、受給者等の確認調査を実施いたし
ました。受給者は29年度末で34人でございます。

その下、2目 農業総務費でございます。決算額は約49万円の減額でございます。減額
の主な理由につきましては、28年度に計上しておりましたテニスコート廃止に伴う工事費
及びプール附属舎の清掃委託費の減額によるものでございます。主な事業といたしまして
は農村環境改善センターの管理及び運営事業で、農業者の知識向上、生活改善に係る講座
を開催し、農家の生活安定、農業後継者の育成に努めました。

3目 農業振興費でございます。決算額は約106万円の増額でございます。増額の主な理
由は、米生産調整推進対策補助金の増額によるものでございます。主な事業といたしまし
ては、米の生産調整推進対策を初め、各種農業団体の育成指導、農業生産技術の向上と経
営合理化を図る農産物共進会事業を行いました。

次に、69ページをお願いいたします。

4目 畜産事業費でございます。決算額は前年度と同額でございます。主な事業といた
しましては、家畜防疫対策事業、畜産振興事業等の補助を行いました。

続きまして、5目 農地費でございます。決算額は、前年度に比べ約2,102万円の減額で
ございます。減額の主な要因は、農業土木工事費及び県営土地改良施設耐震対策事業等負
担金が減額になったためでございます。主な事業といたしまして、農業土木工事費にて、
大久伝排水機場の遊水池しゅんせつ工事、阿野及び大脇排水機場の常時排水ポンプ整備工
事が完了し、阿野排水機場の主ポンプ整備工事を実施いたしました。また、平成28年度に

引き続き、県が行う大原池耐震対策工事の実施を行い、県営土地改良施設耐震対策事業に対する負担を行いました。

次に、70ページをお願いいたします。

6目 総合整備事業費でございます。農村集落家庭排水施設特別会計への繰出金でございます。全額補正減により決算額はゼロ円でございます。詳細につきましては、農業集落家庭排水施設特別会計で御説明をいたします。

次に、7目 地域農政推進対策事業費でございます。決算額は約308万円の減額でございます。減額の主な理由は、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、平成28年度に計上していた農業振興地域整備計画の策定が完了し、管理図面作成委託費のみになったためでございます。主な事業といたしましては、農業経営の基本目標を定め、農用地の保全計画を策定をいたしました。

2項1目 林業費でございます。決算額は前年度とほぼ同額でございます。内容は愛知県森林協会への負担金でございます。

次に、雑入について、主なものを説明をいたしますので、決算書の61ページをお願いします。

下から3行目、生活講座受講料5万7,800円は、農村環境改善センターで実施している講座受講料で、2行下の市民菜園利用料67万3,000円は、市内5カ所で実施している市民菜園の利用料でございます。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは67ページです。農村環境改善センターの、先ほどもお話があったテニスコートが廃止されましたが、その後、廃止後に利用者の方から、改めて不都合というふうな意見だとか出ておらんでしょうか。それから、かわりにどちらを利用されているか、様子などはわかるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 改善センターのテニスコートの廃止に伴っての市民の意見とかになりますけども、特にそのような、不都合とかそういった関係の問い合わせについては聞いてはおりません。

あと、他の施設については、農業政策課のほうではちょっと把握はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 実績報告書の69ページ、一番上の畜産事業ですけど、これ、今ほかの県では豚コレラが出ておりますけど、この20万、大体農家へどれくらいのあれで補助されていますかね。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 前年度と同じく20万円、農家のほうに配付しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 村山委員。

○村山金敏委員 そうじゃなくて、1件あたり大体どれくらい、全体であれしておるのか、1件あたりであれしておるのか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 畜産組合については4件ございます。そちらのほうに補助を配付しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 村山委員。

○村山金敏委員 そうすると4件ということは、1件5万円ということ。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 後ほどちょっと調べます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の67ページ、2目の農業総務費の農村改善センターについて聞かせてください。

これは28年度と29年度と比較すると、923人利用者数がふえております。29年度は文化会館の工事の関係で利用者数がふえたのか、ふえた要因についてまず答えてください。どういうふうなふえた理由というのを分析したのかどうか、答えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 文化会館との兼ね合いでの立証というか、検証はしておりませんので、ですけれども、改善センターの利用としては、JAの農業塾だとか男の料理教室だとか、そういった団体の利用が総体的にふえたというふうに確認しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 運営事業のその主たる目的が、農業振興を図るための総合施設であるというふうから「農家生活の安定、農産物のPRに努めた」まで書いてあるんですけど、説明が、1万1,000人のうち、農業振興を図るための総合施設として使われた人数と、単純に他の団体、貸し館業務として使われた、割合でいいですので、細かく、何対何ぐらいなのか。あと、農業振興じゃない団体の方もそこを使われていますので、その辺の割合を、細かくなくていいですので教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 農業関係の利用者数とそうでない利用者数の人数については、ちょっと把握はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 決算の委員会ですので、館の運営のことを調べていないというのは……。ちよっともう観点を変えて質問をしますね。

29年度に各担当部局に、唐竹小学校が将来、廃校になった後にどういう使い道をするかという、たしか調査をしているんじゃないかなと思うんですが、その中で、この農業改善センターもその中で意見を述べているのでしょうか。そういう調査はなかったのか、逆に。なかったから答えなかったのか、あったら答えていたのかどうか、そこら辺を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 唐竹小学校の関係ですよね。そちらのほうには、移設の考え方としての方針をちょっと伝えてはあります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 先ほど、早川委員が言われた利用率の件でございますが、これは私の感覚的な部分も入るかもしれませんが、基本的には農業改善センターの講座だとかそういうものに関しては、地域の農業者を含めた、農業後継者を含めた、そういう講

座を主にやっております。ただ、ここ、貸し館もしております。その貸し館部分については、私どもの知っている限りでは、例えば近隣の杓掛の町内だとか区だとか、そういう形の方にお貸しをしたりだとか、あの地域の方を対象とした説明会をしたりだとか、そういうことにも使わせていただいております。ただ、貸し館だけでいきますと、最近、特にそういう、地域の方のための、どちらかというとな農業者以外の利用が多いのではないかというふうには感じております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 本館の利用実績を見るとプラス200なんですね。200件ふえているということですので、多分、文化会館が使いえなかった分の会議室というふうでもあったのかなというふうに思っているんですが、その辺は全く、館の運営をしているところは、全然統計をとっていないということなんでしょうか。それでは、この改善センター自体が是なのか非なのかというのは評価できないんですが、その辺は、これ、副市長、答えていただけますか。これ、逆に言うと、そういう運用でいいのかどうかということなんですが、その評価ができない。どうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 私もちよっと今、感覚的でということで申し上げましたが、現実的な話だけをしますと、昨年度、あそこもちよっとしたホールがございます。ダンスだとかそういう方が入られているので、現実的には文化会館が使いえなかった部分がこちらのほうへ来ているということで、ただ、具体的な数量については、私ども、ちよっと申しわけないんですが、幾つが幾つになったという数量は持ち合わせておりません。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 29年度にこの改善センターを、先ほど私、質問しましたが、将来、唐竹の調査が、中で、各課で調査があったと思う、したというふうに回答したんですが、そういう29年度に改善センターをもうやめにするとか、逆に利用足跡を上げるために何か対策を練ったとか、そういうことは検討されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 具体的に利用率を上げる、これは、利用率を上げるのは

管理者としての当然のことでございます。ただ、ほかのもの、すぐやめるとか、そういうことについては検討はしておりません。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 農村改善センターの管理事業についてお伺いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ページ数をお願いします。

○山盛さちえ委員 決算書でいうと151ページになるんですが、実績報告書だと140ページに委託料等が掲載されています。農村改善センターの管理業務委託はシルバー人材センターのほうに行っていますが、前年度と比較すると9万円余が増額されています。テニスコートが廃止されたことによって、若干業務量は減ったかなというふうにも思いますが、この部分がふえた要因について、それから、貸し館的な、会館を利用するときしか管理者というのが、もうテニスがなくなったので必要ないとなると、管理運営の詰めている日にちというか、時間というか、そういうことも当然見直しが可能ではないかというふうに思ったんですが、その点についてはどのような検討をされたのでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 時間数がふえた件につきましては、時間外の時間がふえてその数字になっているということで、確認しております。

それから、管理についてですけれども、特に言うことについて、改正というか、見直しをということは、検討は今のところはしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の172ページの一番上、新規就農給付金ということで150万円上がっております。これは、人・農地プランができてから新規就農者に対して1人につき何年間か支払っているものだと思いますが、今回上がっているのは、これは1人分かどうかということと、何年目かということと、それから、人・農地プランが始まってからこれで何人目かということ、3点、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） これは、人数でいきますと1人になります。5年間、1

人について150万円の補助をとということになっております。29年度については4年目に当たります。トータルの人数としましても、現在1人という形で確認しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 過去にも何かあったような気がしますけど、同じ人がずっと1人で来ているということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 25年の9月から5年間ということで、1人の方が給付を受けているという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 傍聴者をお願いいたします。私語は慎んでください。よろしいですか。退席になりますよ。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の183ページ、6款 農林水産業費の2つ目のところ、単独土地改良事業、排水路改修工事について聞かせてください。

こちらも契約が324万、予定価格が348万、これは落札率でいうと92.3%でした。92.3%でした。これも工事変更があつて100.5%、100%を超えていますので、変更のその理由を、説明をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは単独土地改良事業といたしまして、県から補助金をいただいております。そのために県費補助の変更の割り当てが増になりましたので、事業効果を高めるために延長を延ばしまして増額になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 そういうことは、予算上の範囲内でおさまっていたのが、後から国のほうが補助がふえたということで、それでふやして、それで若干そこが出た部分が26万ほどふえたということなんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 委員がおっしゃるとおり、県から割り当てがありまして、その補助金の額いっぱいまで変更したということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書61ページをお願いします。一番最下段の市民菜園利用料67万円ですけれども、28年度よりも増額になっているようなので、その内容について教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 市民菜園の全区画というのが135区画ございまして、28年については、135のうち130区画の利用があったんですけれども、29年につきましては135区画、全部埋まっている状態でありまして、その分の増額になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の69ページの農地費の一番下の欄にある土地改良総合整備事業返還金265万2,000とあるんですけど、これは去年はないんですけど、これはどういう返還金でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは栄町神田地内で開発が行われます。そこで、総合土地整備事業ということで、県営事業で以前整備されております。そのときに、水路の用地を補助金で購入して、その分は国・県へ補助金を返還するという必要が出ましたので、今回265万2,576円の返還金が出たということになります。

こちらのほうは開発の事業者が負担ということで、入があって出があるということになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 参考までに聞かせてほしいんですけど、69ページ、実績報告書、畜産事業で20万円、45万の補助金の中の20万ですか、これ、家畜防疫対策事業というところで、家

畜家禽とあるんですけど、172ページの場合、畜産事業の一番上、ここは家畜の伝染性疾病の防止と書いてありますが、これ、家禽まで含まれるんですよ。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 家禽のほうも含まれた金額になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） あと、村山委員の。

○村山金敏委員 後でいいよ、もう。後で教えてもらえりゃいい。

○決算特別委員長（近藤善人議員） いいですか。

○村山金敏委員 僕だけ聞けばいい。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の68ページの、ぽっちでいうと下から3つ目なんですけど、土地改良事業等補助金で、これ、前年、大幅減になったときに、そのときの説明が電気代だけの請求だったからということで、それで、29年度に当たっては大幅増しているわけなんですけど、前が、減ったときが2万7,816円まで減っていて、それがまた10万円に戻っているんですけど、もし、代表して書いてあるのが補助率、電気料等の20%以内と代表して書いてあるのが電気代なんですけど、でも、この振れ幅が非常に大きいのは電気代ではない部分だと思うんですけど、一体何に対する補助が主なものなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤 忠君） 今年度ふえた理由といたしましては、この区域に農業用の農水管がありまして、その農水管が漏水した、その工事費の修繕費になります。去年についてはそういった、破損とかそういったことがなかったものですから少なかったんですけど、ことしについてはちょっと、20%以内だと10万円になりますけれども、その満額を計上しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の69ページ、先ほど宮本委員が質問された土地改良総合整備事業返還金265万円余と、決算書の63ページの上から6行目、先ほど御説明があったのがこれに当たるのか確認したいんですが、土地改良総合整備事業返還金収入が365万円余ありますが、もう一度これの関係と、あと、その決算書、同じ63ページの2行上の土地改良

施設適正化事業工事費収入という、1,400万円余との関係があるのかないのか、説明を、ちょっと済みません、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほど宮本委員から御質問がありました件ですけれども、返還金は、決算書のほうの365万8,725円は100%です。それで事業の整備をするときに、県・国と、市も負担をしております。それで、市の負担部分が27.5%ありましたので、その差し引いた72.5%のほうを県のほうに返還するというので、265万2,576円になっております。また、決算書の土地改良施設適正化事業との関連はありません。こちらのほうは別で、土地改良連合会からお金をお借りして事業を進める、別のものがございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 先ほど村山委員から言われた畜産組合の、農家へ対してということで、この2段目の15万円につきましては、これ、組合に対して支払われておるものがございますので、各農家にどれだけというものではございません。また、その上の家畜防疫対策につきましても、これはそれぞれの薬代等でございます。農家の飼育頭数だとか、そういうものによって当然分配がされるということでございます。そのように御理解いただければと思います。終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 割合で分けているわけだね、農家の。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 経営規模によってというふうには考えられます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の140ページの一番下、これ、大原池の水質障害施設の清掃委託ですが、これ、委託先が変わって12%金額が上がっているんですけど、前年は335.0メートル掛ける年2回と書いてあったんですけど、これは今回、内容の変化というのはあるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 内容の変化はございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて6款 農林水産費の質疑を終わります。

ここで昼食のため、午後1時まで休憩といたします。

午後零時2分休憩

午後1時再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

7款 商工費について説明願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、7款 商工費の決算概要を御説明をいたします。

実績報告書の71ページをお願いいたします。

1目 商工総務費です。決算額はほぼ同額でございます。主な事業は、前後駅前の活性化事業や、地方創生推進交付金を活用した本市のブランディングを進めるとよあけ花マルシェ事業を引き続き取り組みました。また、企業の再投資を促進するための補助制度を創設し、2件の事業認定を行いました。

次のページ、72ページをお願いします。

2目 商工振興費でございます。決算額は約411万円の減額でございます。減額の主な理由は、平成28年度に行いました小規模企業実態調査委託や後継者マッチング事業が終了したためでございます。主な事業としては、商工業振興対策事業の商工会等への補助事業や小規模事業者への補助事業として、社宅整備支援補助事業、店舗等水回り改修工事費補助を行いました。融資対策では、愛知県と市の協調預託金を原資として、中小企業者の経営改善を図るための商工業振興資金のあっせんを行いました。

次に、73ページをお願いします。

3目 観光費でございます。決算額は約890万円の減額でございます。減額の主な理由は、地方創生加速化交付金を活用した観光施設整備事業が終了したためでございます。主な事業としては市観光協会への補助で、桜のライトアップ、桶狭間古戦場まつりやイルミネー

ションなどに対して助成を行いました。また、市制45周年を記念して、愛知県自治総合センター助成金を活用して桶狭間シンポジウムを開催し、古戦場まつりのPRにも貢献をいたしました。

次に、74ページをお願いします。

4目 消費者行政推進費です。決算額は約477万円の増額です。増額の主な理由は、10月から消費生活相談日を週4日に拡充したことによる消費生活相談員報酬の増額と、消費生活センター設置に伴う費用によるものでございます。主な事業としては、消費者相談の開催、消費者保護対策を目的とした消費生活や悪質商法等への出前講座を開催し、高齢者等が被害に遭わないための周知啓発に努めました。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の8ページをお願いします。

下から5段目、労働費、労働諸費の需用費100万1,539円は、勤労会館運営に係る光熱水費で、当初見込んだ金額より少なかったことによるものでございます。

その下、商工費、商工振興費の負担金、補助及び交付金211万7,926円は、主に商工業振興資金の活用が予想より下回ったこと、空き店舗活用事業補助金の活用がなかったことによるものでございます。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） それでは、御請求いただきました資料の御説明をさせていただきます。

資料ナンバー13ですが、これは駅活のものと花マルシェというものの2種類がございます。駅活につきましては委託でございますので、収支報告の決算書はございません。ですので、来場者数による実績報告となっております。花マルシェのほうですけれども、これは地方創生推進交付金の対象事業でございますので、国に報告している実績報告書を添付してございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、説明していただきました資料ナンバー13についてです。駅活のほうなんです、来場者数については実績報告書に上がっている人数というか、それとまるで同じものをつけていただいたんですが、補助金が300万円交付されていると思います。そ

うすると、この300万円の使い道については何も報告を受けていないのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これは補助金ではございません。委託料でございますので、そういった使い道についての報告はございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 委託費として300万円お渡しするに当たって、どういうことに使うという、委託の、もう一度、内容と実績を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 委託ですので、当然こちらのほうで積算のほうはしてございます。その積算の内容につきましては、広報費ですとか、実施費としましては音響照明費、ジャズバンドの出演費、イベントの保険料、警備費、消耗品等でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の71ページに今の駅活の表が載っておりますけれども、にぎわいを創出し地域経済を活性化する目的でイベントを開催したというふうに書いてあります。目的はにぎわいと、それから地域経済の活性化ということですので、人数でにぎわいのほうはよくわかったんですが、経済活性という面ではどういうふうに評価しておられるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、駅前のにぎわいを創出することによって、その波及効果で前後駅周辺の経済活性化というものを狙ってございます。したがって、この駅活の事業においては、ワンコインタクシーとあって、500円で市内周辺飲食店への送迎といたしますか、そういったことを行っております。ただ、その市内周辺の飲食店がどれだけそれによって収入が上がったかとか、そういったところまでは把握はしてございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく駅活の件ですけれども、ここに出展された市内業者の店舗数、それから、売り上げ等が御報告されていればお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 店舗数につきましては、正確に、このときは何店舗、このときは何店舗というように、その日にちごとに若干誤差はございます。ただ、実際に1回のイベントで出店されている店舗数としては5店舗とか6店舗とか、それぐらいかなというふうに考えております。その売り上げについては、1日当たり10万円前後というふうには聞いております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 その売り上げというのは、純利益というわけじゃなくて、現金で入った収入のことを言うのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 利益ではなくて売り上げのことでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、駅活だけで見たときの経済効果というのは、委託費300万円に対しては上がっていないという、そういうことになりますが、よろしいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） その300万円の元を取れるような利益は上がっていないというふうには理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 店舗数が5から6店舗ぐらいということなんですが、当初の狙いというか、目標からいくと、この5から6店舗というのは十分な数なんではないでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 前後駅というところで、火を使える場所ですとか、そういった物理的な制約がある程度ございますので、その中でのできる範囲でやっているというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは73ページです。市内に従業員の居住を目的とした社宅整備支援補助金についてなんですけれども、最近、南部地域に物流の事業所などができたりして、市内で働いていらっしゃる方の数はふえているかもしれませんが、そういった方たちのふえてきている状況の中で、この実績というのはどういうふうにとめていらっしゃるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 南部地域での物流業者さんの進出と、この社宅整備支援補助金の活用とは、必ずしも一致はしてございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 今の郷右近委員の質疑に関連してなんですけど、数が余り、ここ数年見ても伸びていないのかなというふうには思っております。何か周知する方法、どういった形でとられているのか教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、事業者支援ガイドというものを平成29年度にも新しくして、商工会会員に向けて、定期便というものがあるんですが、それに向けて発送しております。プラス、企業訪問というのを平成29年度から本格的にやっておりますので、その中でこういった制度も活用してくださいというような周知をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今度は花マルシェについてお伺いいたします。花マルシェ事業の取扱店舗は何店舗だったか教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 済みません、ちょっと聞き漏らしてしまいましたので、もう一度お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 花マルシェの店舗数。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 花マルシェの店舗数といますか、花マルシェについては、メンバーというものとサポーターというもので構成されております。メンバーというのが13事業者、サポーターというのが14事業者ございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実際、お客さんが花を使った食べ物とか、豊明の花マルシェとしての商品といますか、そういうものを手にすることができる、買ったり食べたりすることができるお店や事業所というのはどのくらいあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 先ほどのメンバーというものの中に、花マルシェ商品というのを幾つかつくっている事業者さんがございます。今、商品のほうが10個ほど、29年度時点で10個ほどございますので、それらを扱っている店舗がこの13社の中にございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 とよあけ花マルシェプロジェクトですが、以前、商工会のほうでも花の街・豊明を推進しておりました。その事業から新たに花マルシェになって、これはちょっと大きい、違う視点から新しい事業をやりましたよとか、そういうのがありましたら教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 花の街推進委員会から花マルシェにシフトしたことによって一番大きく変わった点というのが、花の街推進委員会的时候にはイベントを中心にや

っていたというところがございます。それを花マルシェ、いわゆるマルシェというのは市場という意味でございますので、商品開発ですとか、地域経済の活性化というところに力点を置いたというところが最も大きな違いだと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 13事業所の中の幾つかが花マルシェ商品の取扱店舗だということなんですか。幾つかはおわかりでしょうか。それから、29年度の販売金額、売り上げがわかりましたらお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、販売金額については、年間130万円というふうに確認しております。

花マルシェ商品につきましては、とよあけガイドマップにも掲載されているものでして、それを数えていきますと9つぐらいありますかね。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 9つ。

○産業支援課長（秋永亘正君） はい。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の73ページの商工業振興預託事業の（1）の保証承諾状況の件数についてお聞かせください。件数。29年度は44件となっております。過去には、23年が52、24年が67、25年が71、26年64、27が43、28が46、70から71、25年が71だとすると44件、ちょっと減っているのかなというふうに思います。保証承諾の金額についても、71の25年のときが3億1,000万円ほどありましたが、29年は2億、約2億です。これは上の説明のところを見ると、金融機関からの借り入れ困難な中小企業者への経営改善を図るためとあるんですが、これ、少なくなっているということは、市内の事業者様の経営が改善しているというのか、それとも、融資の枠があって、これだけしか受け入れることができないのか、その辺はどのように読み解けばいいのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 我々、企業訪問をしている中で、それは企業者さんにもよりますけれども、比較的景気は悪くないというようなお声を多く聞いてございます。そ

れで、先ほどの相羽部長からの説明もありましたとおり、不用額も出ておるものですから、そういった中では、使いたかったのに使えなかったという状況は余りないのではないかと
いうふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 その辺は、せつかくこういう、もしものときの企業者様にとっては助かる事業であるんですが、なかなかそれが、融資がなかなかできないという、とか、書類とか審査が非常に難しいとか、そういうもので減っているということはないのは事実でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） そういったことで減っているというふうには理解して
ございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 商工業振興預託事業の件ですけれど、県の預託が2億で市が1億、合計3億を原資として、金融機関からの借り入れ困難なということは、この原資をどこかの金融機関に預託をしている、その金融機関から借りるというスキームなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） おっしゃるとおりでございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、その預託金の範囲内の貸し付けという、そういうスキームになっておるのでしょうか。あるいは預託金の何倍制度とか、そういうような限度額というのはあるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） それぞれの制度によって、例えば通常資金ですとか、小口資金ですとか、そういったことによって限度額はございますが、金融機関に借りやすいように、市のほうから1億円を配分しておるという状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 金融機関から借りやすいようにというのは当然なんですけど、その金融機関から借りるときの借入金額というところに、それぞれトータルの上限というのはあるんですか。トータルの上限。預託金の何倍以内とか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 例えば通常資金ですと20万円以内ですとか10万円以内ですとか、そういった上限は制度としてございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 預託金の総額は3億なんですよ、3億。それで、そういう10万円がトータルで貸付残高が3億、4億になっても、それは可能なんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 問題ないというふうに理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の73ページ、8番の店舗水回り改修工事補助金制度ですが、業者の皆さんからの反応がいかがだったかということと、また、活用しやすい制度かどうかという点での御意見などがあったら、お話ししたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 活用しやすいとかしにくいという意見は余りいただいておりますが、この補助制度については、飲食店のみならず、いろんな事業者様、事務所の、お客様が来る事務所のおトイレですとか、そういったおトイレの改修にメインに使われているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 花マルシェについてももう少し聞かせてください。

この内訳、国に出したという内訳報告書を見ると、委託費の総額が420万円ということで、それで運営経費が120万円ということになっていますが、この運営経費というのはどこに対して支払われたものなんでしょうか。とよあけ花マルシェプロジェクトという組織、ちょっとわかりませんが、実態がどこにあって、どういうふうにこの120万円が使われたのかを確認したいので、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 花マルシェプロジェクトリーダーが豊明花き流通組合というところになっておりますので、そちらのほうにこの運営資金というのをお支払いをしておるといような形になってございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 その運営経費の120万円は、どういったことに使われる経費だということかは承知されていますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 花マルシェ事業については、商品の開発以外にも、イベントも商工会館、あるいは前後駅等で行っております。そうしたときのイベントでの人件費であったりとか、お花のお金であったりとか、そういったことに使われているというふうに理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 420万円の経費に対して売り上げが130万円ということなんですが、この目的のところにもちのにぎわい創出や地域経済の活性化というふうに書いてあるんですが、この活性化の部分については、どういった効果が出たというふうに理解されていますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） この事業については、豊明イコール花というブランディングというところも目的の1つとなっております。その花を軸とした商品開発によって売り上げがかなり、商品の数が上がったということ、それに伴って売り上げが上がったとい

うことなので、店にとっても経済効果はあったというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 実はこの花マルシェはまち・ひと・しごとの中に入っている事業で、まち・ひと・しごと創生の開示請求した資料の中にK P I 値の推移ということで、29年度3月末の、29年度3月末の花マルシェ商品の販売金額ということで100万円上がっていて、30年度の末日が130万円というふうに書かれているので、今の御報告とちょっと違うので確認したいです。

それから、取扱店については、29年3月末で1店舗、30年3月末で8店舗というふうに書いてあるんですが、ちょっと今の御報告と違うので、どちらが正しいのか確認したいのでお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 後ほど御回答させていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の73ページの社宅整備支援補助金、29年度の実績が1件2人分で20万ということなんですけど、去年も調べたら2件なんですよね。社宅整備補助金ということで、実績が1件2件の実績の場合、私の感覚でいくと、本当にこの商品というか、この制度、支援補助金というのが、社宅整備を希望するというか、企業さんのニーズに合っているのかどうかというのが非常に疑問に思うんですけど、この1件20万に対するどのような評価をされていますか、お伺いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 確かに20万という金額については、それほど大きな需要というふうには考えておりません。ただし、今は人材不足の状況がこれからもどんどん広がっていくというふうに考えております。そういった中で、例えば人材を、国内のみならず海外からも確保するという動きも出てきております。そういった中では、今後、人材不足というものを背景に、こういった制度が活用されるのではないかとというふうに期待はしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 20万は2人分で10万、10万かなとは思いますが、1件に対してどう思われますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 1件、これは予算との関係性もあるものですから、1件に対してのニーズに対して、予算がどれだけ期待できるかと、期待にお応えできるかというところもあるというふうに考えております。ですので、今のこの制度についてはもう少し様子を見たいと。これで全く使用の頻度が上がらないようであれば、それは見直しをかけていくというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の72ページの上から3分の1ぐらいのところですが、創業支援というのが載っております。5回開催して、セミナーを5回開催して17名の参加があったとあります。昨年も4回開催して20名参加があったというようなことで、続けてやってみえるわけですが、他市の例では、このセミナーを受講して、3分の1ぐらいの方が実際に起業されたというようなことが新聞に載っておったりしますけれども、豊明市の場合は、そういう実績としてはどのぐらいの実績があったのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） この創業支援につきましても、ここに書いてあるとおり、日進、長久手、東郷というふうに4市町で講座等を開催しておるのですが、なかなか豊明市の参加も伸びていない状況でございまして、平成29年度については、豊明市からの参加は3名でございまして。

以上でございまして。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 私が聞いたかったのは、それで起業された方が、前年度を含めてもいいんですけど、これまでにでもいいんですけど、どのぐらいあったかということをお聞きしたいんですけども。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） この創業支援のセミナーを受けた方がその後起業されたかどうかというところまでは、なかなか追跡調査ができないものですから、その後の。です。この方たちが起業されたかどうかというのは、把握はしてございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の74ページ、4目の消費者行政推進費についてお聞かせください。

消費生活の相談件数が166件と、プラス64件となっております。また、一番下のところには、10月1日より消費生活センターも開設したとあるんですが、開設する前と開設した後で相談件数がふえたのか。年間満遍なく同じ人数なのか、その辺、開催している日にちもふえていると思いますので、途中から、その辺の動向を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 開設日が週2から週4に変わって、昨年度102件から166件に増加はしております。ですので、傾向としては、相談できる場所が豊明市にできて、そういった方たちが、今まで遠くとかに相談にするのではなくてこちらに相談できたというところで、増加傾向にはあるのかなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 じゃ、10月以前と10月後で割合でいうと、例えば4対6だとか、回数もふえているわけですが、その辺は月で大体とっていると思うんですが、相談件数を、割合でいうと、開設前と開設後でどれぐらいの割合でふえているのかというのは、細かく言わなくてもいいですので、教えていただけるといいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） どれぐらいの割合でふえているかというのは、ちょっと今はわかりませんので、一度ちょっと調べて後で回答させていただきます。

それと、先ほど山盛委員からの御質問で、私のほうの回答の訂正をさせていただきたいと思っております。申しわけございません、とよあけ花マルシェの販売金額については、平成29年3月では100万円でございます。それで、1店舗の取り扱いで開発商品は3商品となっ

てございます。

以上でございます。申しわけございませんでした。

(発言する者あり)

○決算特別委員長（近藤善人議員） 秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） ちょっと訂正させていただきます。

29年度というとは30年3月末実績ですので、ごめんなさい、133万の販売金額と、とよあけ花マルシェ取扱店舗数は8店舗、花マルシェ開発商品数は13商品となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ありがとうございます。

駅活のほうの委託費の300万円の内訳については、委託費なので、収支の御報告はいただけなかったんですけども、花マルシェのほうも、これ、一応委託ということになっていて、これは420万円の経費の内訳ということで、実際にそれぞれ幾ら使われたかということについては、出していただいた資料ではちょっと伺えない。それで、駅活については300万円の内訳さえわからないというような状況で、国への委託、国からもらった交付金に対する市からの委託だったら資料が出せるけど、市の委託は出さないというのもちょっとよくわからない話で、やっぱり300万円、あるいは420万円について、どのくらいの効果があったのか、実際の事業費がそれ以上にかかっていたとかいなかったとか、残金が出たとか、そういったことも総合的に見ながら、それぞれの新しい事業の今後の継続とか、さらなるてこ入れとか、いろんなことを判断していきたいものですから、本当ならばきちっと出のほうも、入りも出も両方資料として請求したわけですから、御提示いただくのが本来ではないかというふうに思いますが、数字も含めて出すことはできますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） この収支報告については、どちらも委託ではあるんですけども、一方は補助事業ですので、こういった収支報告書を出す。一般的な他の事業での委託についても、そういった収支報告書は出ていないと思うのですが。ですので、これも、我々も300万円でこれだけのことをやってくださいよということの委託事業でございますので、収支報告書というのはないというふうに解釈しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 それでは駅活についてですが、この300万円の委託料でこれだけの、例

えば売り上げでいえば、1回当たり10万円の売り上げというのが、経済効果も含めて、当初の狙いというか、目的だったんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） できれば、もちろん売り上げは高いにこしたことはございませんけれども、今、あの物理的な範囲の中で、できるだけ回転率を上げて事業を実施できればいいかなというふうには考えてございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 で、300万円の委託料に対して、この29年度の実績というのは妥当だというふうに考えていらっしゃるんですか。さらに何か工夫、努力するべきところがあったと、もう一步だというふうに考えていらっしゃるのか、いずれでしょうか。花マルシェについても、そのような視点からお答えください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、駅活のほうですけれども、今回で何年度目かになるんですけれども、なかなか回転率がやはり悪いということがあります。やっぱり固定客がついたというふうな見方もできますけれども、その方たちが結構長くいて回転がなかなか上がらないということで、売り上げのほうはなかなか上がらないというのが1つ。もう一つ、今、ジャズのほうをやっておるんですけれども、そういった内容についても、もう少し工夫をして、新しいものを取り入れていく必要があるなということで、もう少しこの内容については、駅活事業については、一つ一つステップを踏みながら、よりよいものにしていく必要があるというふうに考えております。

もう一つ、花マルシェについてですけれども、これにつきましても、毎年毎年同じことをやっているのではなくて、今年度はこういったところに力を入れていく、今年度はこういったことに力を入れていくというように、試行錯誤しながら事業を展開しております。ですので、今のままで満足しているというわけではございません。ですので、もっともっとPRも必要でしょうし、地域ブランディングという意味でも、まだまだ知名度が足りないというふうに認識しておりますので、こちらのほうも試行錯誤しながら、より活性化に近づきたいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 くどいようですが、さっきのあの73ページの商工業振興預託事業の協調預託、県2億、市1億、これは金融機関の借り入れに対する保証承諾ですよ。ということは、金融機関に対して、もしもの場合、焦げついた場合に、保証を自治体、この預託金が保証しているということだという理解だと思わなければならない、この保証承諾が毀損するとか、要するに貸し倒れというような、そういう場合はどういう取り扱いになるのでしょうか。これは全て金融機関の責任で金融機関が償却するというか、そういう場合の、返済困難に陥った場合の取り扱いはどういうふうになっておるのでしょうか、これ。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） こちらについては信用保証協会の信用保証料の助成ということになっておりますので、ですので、焦げついたときは信用保証協会が担保するというような仕組みになってございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、保証承諾金額の2億160万というのは信用保証、これは保証した金額であって、実際には信用保証料を負担していると、そういう意味合いなんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これについては、制度としては、保証協会に支払った信用保証額の60%、または10万円のどちらか低い額ということを保証しておるものでございます。ですので、利子の差額といいますか、そういった部分の保証ということになるかと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、実際に支出しておる金額、保証料の金額はどこにあるんですか。実績の中の。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。時間がかかるようでしたら後から。

○産業支援課長（秋永亘正君） 後ほど答弁させていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにありませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の159ページで、商工業振興補助事業の中の一番最後の行に書いてある小規模事業者再投資補助金について、この金額の中での実態というのか、実績がありましたら教えていただきたいと思います。何かいろんな機械を買いかえたりとかということに使われていたかなというふうな記憶があるんですが、教えていただければと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。159ページです。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 159ページの小規模事業者再投資補助金のことによかったですかね。これは、いわゆる水回り補助金のことです。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の74ページの4目の消費者行政推進費の続きでお願いします。

166件のうちの年齢、何十代の方が、どちらかというとな年齢の高い方が多いのか、若い方も含めて全体的に満遍なのか、まずそれを知りたいのと、もう一つは、特殊詐欺とか、ネット通販とか、ネットにかかわる課金だとか、そういうゲームも含めてとか、あとは通信販売のトラブルとか、家庭に来て訪問販売のトラブルとか、どういう傾向の相談が多かったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 相談につきましては、やはり高齢者の方が多いということでございます。あと、架空請求というものが、ばらまかれるときに一度にばらまかれますので、大量に、です、そのときには短期に、架空請求に対して不安に思われた高齢者の方、この方が一時的に多くなったりはします。あとは比較的、全般的には高齢者の方が多いんですが、通信販売ですとか、そういったことでのお問い合わせが多いように聞いております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 件数はかなりふえているわけですが、解決率というのか、相談に来ていただいた結果、問題が解決したような割合というのは捉えてみえますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 解決率というところまでは、こちらとしては把握しておりませんで、その相談の内容によっては、こちらのほうにもう少し詳しく聞いてくださいとか、いろんなところの機関に御相談するといいですよとか、いろんなアドバイスの仕方がございますので、その後の結果まではちょっと追跡はしてございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 消費者行政推進費の中の3番目の出前講座なんですけれども、この受講者数の推移をちょっとお聞かせください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 6回講座を開いておまして、推移ですか、それぞれの講座の。

（毎年6回やっているんですけど、どんな感じなのかなというのが知りたいですの声あり）

○産業支援課長（秋永亘正君） こちらもちょっと後ほど御回答させていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 引き続き消費者行政相談推進費の一番下の消費生活センターの開設について、ちょっと確認をさせてください。

場所が喫煙所の隣ということで、たばこの煙のことを開設のときにも心配したんですが、たばこの煙については、相談室のほうまでは入らないような処置がちゃんとできているのか。あと、その辺の、相談員さんの健康を害してはいかんですので、その辺はどのような状況になっているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） その件につきましては、以前もお答えをしておるんですが、喫煙室が隣にあるということで、壁につきましては二重にさせていただきました。独立した空調も入れておりますので、そのような影響はないような形で整備はさせていただいております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 先ほどの老人クラブの出前講座の推移の御回答をさせていただきます。

平成28年度については、6回で参加合計人数は222人でした。今回については6回で175人ということで、若干減少はしてございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 まちづくり指標の31番の客観的な指標をとったところで、市外から人を呼べるような場やイベントがあると思う市民の割合というのがあります。26年度実施時期には21.2%だったものが、30年度4月には19.1ということで、5年後に31%、10年後には40%という目標を立てているんですが、なかなか伸び悩んでいるというような状況のようです。これが、今ここでいろいろ質問いたしました、花マルシェであったり、駅活であったり、それから、そのほかにもひきずりであったり、軽トラ市であったり、いろんなこと、それから、桶狭間のお祭りもそうですかね。そういったことも総合して、まちの魅力ということで、市外から人が呼べるような、そういう魅力につながるんだと思うんですが、なかなかこの数値が伸びないということ、全体として見たときに、29年度、単年度においてしかちょっとお尋ねできないわけですが、なかなか、やっても結果につながっていないように思うんですけれども、何かしら工夫をしていこうというような、あるいは大きく変えていこうというような、そういったような試みというのはされていくのでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 確かに19.1%ということで伸び悩んではおります。これについては周知という、PRというところ、今SNSを使った形のPR、これは花マルシェでも今試みをしようとしているところでございますけれども、そういったところも使いながら、あらゆる手段を使いながら、PRに心がけていくというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じくですが、74ページの実績報告書の消費者行政推進費の、壁を二重にして対策は練ったということなんです、実際そこで対応している相談員さんからも、たばこのにおいはどうだというのは確認しているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 相談員さんのお話の中で、たばこのにおいがきついか、そういったお話は今のところ聞いてございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 あと、相談の166件のうち、これは全部対面の相談ケースになるか、電話相談も含めての数なのか。また、電話相談が別だったら、電話の件数は別にあるんでしょうか。この辺、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これにつきましては、電話相談も含めた相談でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 割合でいうと、これはどれぐらいなのでしょう。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 割合につきましては、ちょっと今手元に資料がございませんので、一度お調べします。

もう一つ、先ほどの宮本委員の御質問に対する御回答でございますけれども、いわゆる委託をすることによって融資枠、融資をする枠をふやすことができるということで、貸しやすくすることができるということでございます。その結果、ただし、焦げついたときは、信用保証協会が保証するというような仕組みになってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 融資枠をふやすということでもいいのでしょうか。私の理解は、県の2億と市の1億で3億を預託して、そのときに、金融機関に対して、その利息はゼロにして、その分をその金融機関から安く借りれると、こういう制度で、焦げついたときというのは、それは金融機関とその本人さんの、借りた人との関係で、実際は保証機関から保証料

で払ってそこで処理をすると、そういうような仕組みじゃないんですか。枠の問題だけというように、さっき、回答ですけど、借りやすくするというのは枠じゃなくて、金利を低くするという意味なんじゃないですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 宮本議員にこれを御説明は大変失礼な話かもしれませんが、私が知っている限りでは、市の1億と県の2億がそのまま県の制度融資、これは一般的には低利、利息は低いと。それが、民間貸し付けの商品である高利のものの利息の差分を、そこへ制度融資に私どものお金を預託をすると。その差で借りていただいている。だから、いわゆる利息分の差を私どもが保証しているというふうに私は理解をしておるんですが。そういう金融機関に直接私も借りたことがないので、金融機関の実態的なものがちょっと私もよくわからないんですが、そういうふうに理解をしています。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 わかりました。いずれにしても、決算とは直接はあれですけど、その金額が、市のお金に直接影響をしているというか、そういうことじゃないというふうに理解はしますので、それはそれでまた、仕組み自体はまた後で聞きます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 先ほどの早川議員の電話と窓口の数なんですけれども、166件のうち、電話が97件ございました。それと、あと相談の件数の、例えば4月から9月でどれぐらい、10月から、月々の割合というんですか、それについては、4月から9月で52件、10月から3月で114件ということになります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の74ページの一番上、事業が4つあります、(1)から(4)。あわせて実績報告書の173ページを見ると、桶狭間古戦場まつりと甲冑製作は補助金が分かれてわかるようになってはいますが、イルミネーションと三崎公園の桜ライトアップには、どれぐらい補助が当たっているのかわかりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 決算額で申しますと、桜まつりにかかった費用で、もしよろしければ御回答さしあげます。

桜まつりにかかった費用ですと470万4,780円、イルミネーションが179万7,425円でございます。

以上です。

(発言する者あり)

○産業支援課長（秋永亘正君） もう一度御回答させていただきます。

桜まつり費については470万4,780円、イルミネーション費については179万7,425円でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 イルミネーションの179万円ですけれども、これ、イルミネーションの179万円ってどういうことに使われましたでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） このイルミネーションというのは、前後駅のところのイルミネーション、クリスマス時期に前後駅をイルミネーションで飾るのですけれども、その費用でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の71ページの商工総務事務事業の駅活のイベントについてお聞かせください。人数のところなんです、雨天による中止がというの、ハロウィンイベントの10月28日が中止になっています。前年の人数でいうと1,000人というふうに書いてあった覚えがあるんですが、そうすると、雨が降らなければ、人数的には、開催から含めると余り変わらなかったのか、連続した日にちのものが有りますので、昨年と比べれば若干減ったのかどうか、この辺がちょっと、どういうふうに比較したらいいかがわかりにくいので、その辺を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 10月28日のハロウィンイベントにつきましては、雨天のため、これはピニャータ割りとか、スタンプラリーカードを配って、パルネスの協賛でお菓子を配っております。ですので、いわゆる夜カフェだけではなくて、昼間のイベントも

やっておりますので、もし、これが晴れていて夜カフェが開催されれば、もう少し人数はふえたのかなというふうには思っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 あと、答弁漏れなんですけど、連続で29年度、8月30日から9月1日とか、9月20日から22日と、連続でやっている部分があるんですが、その前の年は連続ではやっていないですもんね。その部分の人数でいうとふえているのか減っているのかと、その判断がちょっとわかりにくいので、その辺の評価はどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 確かに28年度は4日間で2,900人でございます。一方、29年度については、これは8日間、倍の日にかかけて2,500人というふうに減ってございます。その減った要因と申しますか、それにつきましては、先ほどもちょっとお話を、答弁をさせていただいたところですが、やはり回転率というところと、内容がちょっとマンネリ化しているのかもしれないので、そういったところでの内容の工夫が必要だというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて7款 商工費を終わります。

続いて、8款 土木費について説明願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、8款 土木費の概要の説明を実績報告書に基づき説明をいたします。

75ページをお願いいたします。

1項1目 土木総務費でございます。決算額は、前年度に比べ約600万円の減額でございます。減額の主な要因は、人事異動に伴う職員数の減1名によるものでございます。

2目 維持管理総務費でございます。決算額は、前年度に比べ約258万円の減額でございます。減額の主な要因は、前後駅のハトよけ対策工事に関する負担金の完了によるものでございます。主な事業は道路台帳の補正業務で、栄332号ほか71路線の補正を行いました。

その次、2項1目 道路維持費でございます。決算額は、前年度に比べ3,759万円の増額

でございます。増額の主な要因は、道路等維持修繕工事費及び工事立会費等負担金の増額と、平成28年度繰り越しの道路用地購入と物件移転等の補償を執行したためでございます。主な事業としては調査測量委託業務等で、橋梁定期点検業務委託及び横断歩道橋保守設計業務委託を実施いたしました。また、道路維持修繕事業では、橋梁修繕工事と杓掛横断歩道橋の修繕工事の実施し、道路等修繕工事185件、道路等修繕作業113件を実施いたしました。

続きまして、76ページをお願いいたします。

2目 道路新設改良費です。決算額は、前年度に比べ約1,153万円の減額です。減額の主な要因は、市道栄220号の道路側溝改良工事が終了によるものでございます。主な事業としては区長要望工事で、合計15件を実施いたしました。

3目 交通安全施設費でございます。決算額は、前年度に比べ約159万円の増額です。増額の主な要因は、交通安全施設整備工事費が増額になったものです。主な事業としては、交通安全施設の整備工事と修繕工事を合わせ、合計73件を実施いたしました。

3項1目 河川新設改良費でございます。決算額は、前年度に比べ2,900万円の増額でございます。増額の主な要因は、境川への水位計設置工事及び雨水管渠埋設工事の実施に伴い増額となったものでございます。主な事業として、調査測量設計等委託事業として、寺池区画整理事業に伴う雨水排水基本設計業務、及び河川改修事業として、市道大脇館線に雨水管渠埋設工事を実施いたしました。

2目 河川維持費でございます。決算額は、前年度に比べ約366万円の増額です。増額の主な要因は、河川等維持作業修繕工事費が増額となったためでございます。主な事業として、河川維持作業と河川維持修繕工事の合計45件を実施いたしました。

4項1目 都市計画総務費でございます。決算額は、前年度に比べて約1,799万円の増額でございます。主な増額の理由は、都市計画基礎調査の調査項目の増と、親との同居・近居購入費補助金の申請件数の増によるものでございます。主な事業は、建築・開発・等受付調査等事務、屋外広告物審査事務、建設リサイクル届出審査事務、建築相談委託事務、民間木造住宅耐震改修費補助事業事務、民間木造住宅耐震改修補助事業事務で、耐震診断は24件、耐震改修費補助は11件でした。また、親との近居・同居購入費の補助は147件でございました。

2目 市街地開発費でございます。決算額は約2,110万円の増額でございます。増額の主な理由は、住居系区画整理検討事業として、区画整理設計業務、計画協議に必要な資料の作成、産業系土地利用検討資料として、土地利用検討調査業務、整備区域概略設計業務等を実施したことによるものでございます。

3目 街路事業費でございます。決算額は、前年度に比べ約2億1,518万円の増額でございます。増額の主な要因は、桜ヶ丘沓掛線の道路改良工事が本格化し、工事量の増加によるものでございます。主な事業は、都市計画道路新設改良事業桜ヶ丘沓掛線の工事、都市計画道路委託事業で、測量設計調査委託等を行いました。また、工事費の一部、9,600万円を平成30年度に通次繰り越しをいたしました。

80ページをお願いいたします。

4目 公園事業費でございます。決算額は、前年度に比べて約953万円の増額でございます。増額の主な要因につきましては、平地公園の整備工事を実施したことによるものでございます。主な事業は、二村山緑地整備事業、公園施設改修事業13件、公園施設維持管理事業でございます。

続きまして、5目 都市下水路費でございます。決算額は、前年度に比べて1億1,308万5,000円の減額となりました。これは下水道事業特別会計繰出事業でございます。詳細につきましては、下水道事業特別会計で御説明をいたします。

次、81ページをお願いいたします。

6目 都市改造費でございます。決算額は、前年度に比べて約579万円の増額でございます。これは有料駐車場事業特別会計繰出事業でございます。詳細につきましては、有料駐車場事業特別会計で御説明をさせていただきます。

7目 緑化事業費でございます。決算額は、前年度に比べて約115万円の減額でございます。減額の主な要因は、都市緑化推進事業補助金事業の使途がなかったことによるものでございます。主な事業は、緑化対策事業、花と緑推進事業及び緑化事務事業でございます。約189人のフラワーボランティアさんにより、市内の公園、駅前広場などの花苗を植栽していただいております。緑化事務事業では、フラワーボランティア研修会——これは22人でございましたが——の参加をいただきました。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の8ページをお願いいたします。

下から3段目、土木費でございます。道路維持費の公有財産購入費、繰越分でございますが、124万45円は、購入を予定しておりました道路用地の面積が減少したためでございます。

次に、市街地開発費の委託料8,867万7,821円は、間米南部土地区画整理事業計画協議と業務委託の契約残でございます。

以上で8款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 会議の途中ですが、ここで10分間の休憩といたします。

午後 2 時 5 分休憩

午後 2 時 1 5 分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

8 款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の78ページに、前の年までであった建築相談というのが、件数が載っていないくて、決算書を見ると委託料ゼロとなっていて、実績なしですね。それまでは、相談があろうとなかろうとずっと支出していたというのをええられたというのはよかったかなと思うんですけど、相談がないというのが利用しにくくなったせいであると、これはまたそれでよろしくないかなと思ひまして、今どういう受け付けになっているかなというのを見たら、1週間前までに予約と書いてあったんですね。ちょっと1週間前というのは、かなり利用する側からすると不便じゃないかという感じもするんですが、これのせいでゼロになってしまったという可能性はないですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これは住宅相談なんですけど、今、委員言われたとおり、昨年からは予約制度にいたしました。委員も言われたとおり、実績としてはゼロだったんですが、1週間前の予約ということですから、使い勝手がどうかということなんですけど、今年度につきましての実績としましては、今、四、五件程度もう出ていますので、私としてはそうではないというふうに思っております。

以上で終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の184から186にかけてお聞きします。

まず、184ページの一番上の3つある真ん中、国庫補助事業、横断歩道橋の修繕工事。これは落札率が97.8%で、変更工事があつて103.6%になりました。続いて、2目の道路新設の改良工事費の一番最初、これも97.8%で、変更があつて103.7%になっています。その2つ下の道路築造工事、これは99.6%の落札率で、これも途中で変更の工事があつて103.6%になっています。もうちょっと下のところに行って、道路側溝改良工事の阿野の坂部地内、これも96.7%が、変更工事があつて102.1%。184ページの下のところの国庫補助の新

田町の吉池の工事なんですけど、これも98.2%が、変更の工事があつて104.1%。その続きの185ページのところの一番上、国庫補助の沓掛町荒井の、この工事も99%の落札率で、これも工事変更があつて101%。ページ、はねていただいて、一番上の3つのところの真ん中の道路築造工事の栄町内山、これも99.9%、これは入札が2回あつたんですか、2回目で99.9%で、これも変更工事があつて101.5%。公園のほうもあるんですが、はざま公園、先ほど説明もありましたが、98.3%で、これも変更工事があつて、これは110%となっております。それぞれ変更があつたと思うんですが、どういう変更があるのか。変更理由が、市民コーナーにもあるんですが、道路の築造とか改良のところをよく見ると、実際よりも舗装面の厚みが厚かつたというものとか、コンクリートが実際よりも太かつたとか、そういうものが書いてあるものはあるんですが、そういうのが多いのか。公園は別かもしれんですが、どういう傾向があるのか教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） たくさんいただきました。順次お答えします。

184ページの上段の国庫補助事業、横断歩道橋の修繕工事ですが、こちらのほうは既設のコンクリート床版の取りかえをする工事でありまして、それを撤去したところ、取りつけの部材が、かなり腐食が著しかったことが確認できましたので、こちらの補強を追加させていただきました。また、あわせて地覆の補修工の施工方法や、若干取り壊し数量の変更もありまして、塗装工、交通誘導員も変更増をさせていただきましたので、140万円ほどの増額になっております。以上です。

次が、その下、先ほど4つぐらい言われて、早川委員のおっしゃることが多いんですが、舗装厚が、想定は大体5センチぐらいで見えるんですが、それ以上厚かつたというのが多いんですが、順次、重なるかもしれませんが、変更の理由を、主なものを述べさせていただきます。

道路側溝改良工事の宿地内ですが、こちらは既設の舗装厚が推定より厚かつたということで、アスファルトの処理料と、あと、舗装復旧の路盤厚等の変更が伴いましたので、29万円ほどの増額になっております。

続いて、道路築造工事の稲葉地内ですが、これは掘削をしたところ、一部に塵芥が含まれており、残土処理ができずに、建設混合廃棄物として処理する必要性がありましたので増額になりました。また、あと、地元の要望により、車どめや案内看板等を設置させていただきましたので、その分で61万円増額になっております。

続きまして、道路側溝改良工事の坂部地内ですが、こちらのほうも舗装厚が推定より厚

かったということで、アスファルトの処理料がふえたために、26万円ほど増額になっております。

1 ページはねまして、国庫補助の道路改良工事、新田町吉池地内ですが、こちらのほうも舗装厚が厚かったということと、また、既設の側溝のコンクリート、要するに補強コンクリートというのがありまして、そちらのほうは通常無筋ですが、有筋だったということと、側溝の下に隠れている部分があつて見えなかった部分がありまして、そちらのほうの取り壊し料と処分料が増加したということで、65万円ほど増額になっております。

土木課分は以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） それでは、続きまして、都市計画課分の変更の内容を御説明いたします。

186ページの上から2段目になります、道路築造工事、栄町内山地内でございます。これにつきましては31万6,440円の増額となっております。内容につきましては、隣接する既設の道路とのすりつけ部分について、アスファルト舗装を15平米と、あと、コンクリート舗装を10平米、合わせて増額、ふやしまして、合計としまして31万6,440円の増額となっております。

続きまして、真ん中あたりになりますが、市町村土木補助事業の公園整備工事になります。これにつきましても137万8,080円の増額になっておりますが、内容としましては、ちょうど、はざま公園なんです、斜面を利用した公園になっておりまして、今回地元のリノベーション工事ということで、斜面の部分にクライミングウォールという遊具をつけてくださいという御要望でした。現場のほうをいろいろと町内の方々と確認しましたところ、少し位置をずらしてもらえないかということでございまして、少し西側のほうへずらしたんです。そうしたところ、のり面の長さが若干長くなりまして、クライミングウォールを設置する面積がかなりふえたということが1つの要因と、あと、それに伴ってのり面を掘削したところ、地下水の湧き水がわかりまして、その部分を、排水管を用いまして地下水を、排水設備というんですか、それをつくったことにより増額したものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほど、答弁漏れと間違いがありました。済みません。

先ほど、国庫補助事業の道路改良工事、新田町吉池地内ということの変更理由ですけれども、1番、鉄筋がまじっていたということをおっしゃいましたが、これはちょっと違ひまして、舗装の厚さが想定より厚かったのと、既設側溝の補強が舗装の下に隠れていて、

その分の取り壊し料と処分料が増したということと、あと、次のページの国庫補助事業、道路改良工事の沓掛町荒井地内の変更理由が先ほど言い忘れておりました。こちらのほうは既設舗装厚が想定より厚くて、既設側溝の補強コンクリートが、こちらのほうが有筋だったということで、取り壊し料と処分料が増加したということで41万4,000円の増額になっております。

以上です。済みません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほど、富永委員の住宅相談の件数ですが、4件とお答えしましたが、ちょっと私、間違えておまして、2件ということでございましたので、訂正のほうをお願いしたいと思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 たくさん答弁していただきました。

2目の道路新設のほうは、結構道路厚、実際は5センチ程度を想定していたものが、実際掘ってみると厚みが10センチとか多分、ということなんだと思うんですが、これ、もともと道路台帳を整備していて、その厚みとかも当然数字が入っていると思うんですが、これ、結構そういうものが多いということは、当時の記録が余り定かでなかったのか、それとも逆に、どうなんでしょう、どう言ったらいいんですか、落札率も基本的に高い落札率、工事の種類とかもあると思うんですが、業者さんの忙しさとか、いろいろな理由があるのかもしれないですが、これ、そういう変更が少なくなるような取り組みというのは29年度、されたんですか。例年どおりの方法でやっているのか、その辺は何か対策は練っているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） どうしても舗装の場合、設計は通常5センチでやります。でも、施工上で5センチ以上でやってある部分だとか、あと、その後、占用者等で舗装復旧をやり直したとか、そういうところもありますので、不可視部分に関してはどうしても発生してしまうということがあります。設計に関してはなるべく現場で忠実に設計はするんですが、どうしても不可視部分については発生するというので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 実績報告書の78ページの上から2段目、3段目についてお聞きします。

耐震補助事業が、これ、昭和56年以前ということで、これ、24で割ると平均で4万6,300円ということで、これ、すごく大きなお家でも全て無料で実施するのか、それが1点。それと、昭和56年ですと、ツーバイ工法というのがもう既に始まっていました。それで、住んでいる方が、自分の家が在来工法なのかツーバイ工法なのか知らずに申請をされて、ツーバイだからだめですよとか、そういった事例があったのか、わかれば教えてください。

それから、その下の耐震補助事業の、これも11件で990万なので1件90万ということで、一部補助ということなので補助率があると思うんです。例えば150万の工事で90万補助できるのか。ただ、これ、すごく切りのいい数字になっているので、その辺の補助率について、以上3点、お聞きします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 無料の耐震診断の住宅の大きさですが、これは大きくても無料でやっております。

ツーバイフォーにつきましては、在来の枠組み工法ということでございますので、対象外となっております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） あと、補助率。

○都市計画課長（近藤 潔君） 補助率ですが、90万円が、耐震の補助につきましては90万円がマックスですので、90万円を超えておれば、例えば300万円でも400万円でも90万マックスで補助するというところでございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 ちょっと確認で、さっきわかればということで、具体的にツーバイで申し込みがあつてお断りしたという事例があつたのかどうか、わかれば教えていただきたいのと、耐震の補助については、じゃ、極端なことをいうと、100万円の工事でも90万円まで補助しますよという理解でよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） ツーバイフォーの実績ですが、問い合わせのほうは以前あつたということは聞いております。

あと、補助率ですかね。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 100万。

○都市計画課長（近藤 潔君） 100万円の場合は、先ほど私、申しましたように、90万円マックスの補助になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっと関連してなんですが、耐震診断の件数に関してと、改修補助の件数に関しては関連性を教えていただきたいんですが。耐震診断24件で改修が11件とあります。これは24件受けられた方の中で、そのままの必要があって11件の方が改修されたという理解でいいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 耐震を受けられた方、24件なんですけど、その全ての方がというか、11件、改修工事のほうはその24件のうちかと言われますと、そうではございません。やはり2年、3年前に受けられて、御家族と相談をされて予算がついたと、こういうことになれば申し込んでいただくという形になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ということは、つまり、この24件、耐震の診断されて、ちょっと住むには不適ですよというふうに診断されたとして、そのまま住み続けられている方もいらっしゃるということでもいいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） そのとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今のところの上のほうの耐震診断のほうですけれども、当初予算で208万4,000円、それが111万1,200円ということで、件数も前の年が30件なのが6件減っているわけですね。その件数について、どのように分析をされていますか。要するに、対象がだんだん減ってきているかということなのか、やっぱりPRがまだ足りないのか、どんなふうに考えておられますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 確かに富永委員が言われるように、対象のほうも実際、はっきり言って少なくなっているのは事実です。PRのほうも特に、以前耐震を受けていただいて、まだ何も施していないという方もかなり見えますので、私どもはそういう人たちに対して、PRをどんどん続けていきたいというふうに思っております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど早川委員が質問された道路の追加の件なんですけれども、これは偶然だろうというふうにしか言えないんですが、たまたま、例えば道路新設改良費の中でいうと、追加があったその理由が、舗装の厚みが5センチより厚かったというような理由で追加があったのが、業者名がマルイ土木さんばかりなんです。偶然かもしれませんが、それで、今、理由が、不可視部分、見えないからそういったことはどうしても発生するというふうに説明がされました。ということになると、工事等の概要を見ると、同じような工事の内容なんです。これ、大体のところだね。道路築造工事の毛受組さんがやられたのは、これ、ちょっと中身が違うし、理由が違ったので、これはちょっとさておいたとすると、そのほかほぼほぼ一緒なんですよね。とすると、似たような、5センチのつもりが、たまたまこの部分はちょっと厚いとか、そういったことはほかでも発生していた可能性が、私は自然にあるんじゃないかなというふうに思うんです。の中で、ほかの業者さんがこの理由で工事変更の申請がなかったということなんでしょうか。それとも、たまたま100%超えたのがマルイ土木さんで、理由がこれだったということなのか。ちょっとその辺の理由について、もうちょっと説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 偶然、業者さんが重なった、たまたまだというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じところの関連なんです。逆に184ページの下から3つ目、道路側溝改良工事、これは落札率が99.1%で、これは変更契約、これはマイナスして91.3%に、こ

それは逆に下がっています。もう一つ下のところもそうですね。荒井の道路側溝改良工事
も、97.5%の落札率が94.1、これもマイナス3.4%ほど下がっています。これは、こういう
上がる要因もあれば下がる要因もあるんですが、この2つの下がった要因というのはどの
ようなものなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） それでは、1つ目の道路側溝改良工事、大久伝南地内の変更、
下がった理由ですが、こちらのほうは境界確定をする必要があるんですが、通常、道路工
事をやると境界確定をするんですが、一部不調になりまして、その分の側溝の延長を、減
をさせていただきました。そのために約72万5,000円の減額になっております。

その次の国庫補助の道路側溝改良工事の荒井地内ですが、こちらのほうは近接工事箇所
で、同じく国庫補助事業の道路改良工事が、下に荒井地内というのがありますが、こちら、
同一業者が受注しましたので、経費を合算したために29万9,000円の減額になっておりま
す。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 また先ほどの質問の関連なんですが、今度はページをはねていただいて、
公園のほうの質問を、再質問させていただきますね。

はざま公園のほうは、毎年そうなんですが、最初の予算から、また地域の方の要望を受
けて決算ではふえている、100万ほど毎年ふえているパターンが多いと思うんですが、予算
立てするとき、地元の区とか町内さんから意見をいただいて、最初のそれを入札にかけ
たほうが安価にできるんじゃないかなと思うんですが、そういう方法をとる考えはないん
でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） やはり今のところは、地元の区長さん、町内会長さん、
また、子ども会の皆様の意見も聞きますので、そういうわけにはいかないというふうにし
ております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 その工事をする年度に聞くのか、その前年に聞くのかの差だと思うんですが、さほど大きく変わることはないと思うんですが、その辺は、落札率にもよりますので、最初からもう構想ができていようのが変更も減るんじゃないかなと思うんですが、その辺は変える考えはないということなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） リノベーション工事につきましては、現在そのまま継続してやっていきたいと思っております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 その1つ上のところは、こちらの公園の工事のほうは、入札が3回目で99.4%だったんですが、何か特殊なものとか工期的なものでなかなか、入札が3回になったのか、この辺はどういうふうに分されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 遊具につきましては、やはり見積もりとなりますので、我々がとった見積もり業者と、また請負、受注されたところ、そこの業者さんの見積もりをとった業者の差異が出てきますので、その辺で若干積算が違ったのかなというふうには思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 それはあれですか、同じ市が指定した遊具なのか、それに似たようなものだったのか、その辺はどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 指定品ではございませんので、図面でお示ししまして、同等品以上という形になっております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 184ページの上から3つ目の先ほどの工事変更の部分ですけど、道路築

造工事の阿野町の稲葉ですが、変更理由の中に、地元からの要望があつて追加したというのがありましたが、その追加工事の金額を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 金額までは持ち合わせておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 以前もこういうことがあつて、当初の設計というか、工事の内容に新たに追加する場合、予算が残っているんだったら、じゃ、入れてしまおうかみたいな、そういうのはよろしくないですよというお話をしたことが議会であつたと思います。そのときは、何か国とか県とかの補助金が入るので、できるだけそこを有効に使ったほうがいいのでというような理由で、追加理由も御理解くださいみたいなことだつたと思うんですけども、これについてはそういった事情もないかと思いますが、本来の工事内容に後から別のものを追加するという、それがこんな形で進められていくということについて、ちょっと違和感を感じますが、事情、それから、今後の対策について説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらの追加工事については、道路を築造したために、その道路を通らなくしたほうがいいというような意見もあつて、車どめと案内看板、それで、道路をつくった形状で、どうしてもカーブミラーが必要になつたということで、そういう必要なものを追加させていただいたということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書76ページ、河川費の河川新設改良費の中の雨水排水検討業務委託について伺いたいと思います。

この検討業務は市内全域を対象に行われたのか、また、わかりましたら、具体的に検討内容がわかれば教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは市内全域ではありません。市道善江大原線という前後から星城高校へ向かう、大脇・館の交差点近辺がどうしても排水状況が悪いとい

うことがありまして、そちらのほうの既設管渠の能力等、調査させていただいて、資料を作成していただきました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の80ページです。公園事業費の中で、公園施設改修事業ということで3,000万円ぐらい書かれています。住民の方にお話を聞くと、散歩の途中にトイレに立ち寄ったりというふうな何か要望も多いと聞いていますが、利用しやすい公園になるような、そういった改修事業で特徴的なものがあったら教えていただきたいと思いません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほどもお話ししましたが、地域の方と協議しながら、リノベーション工事、それに基づいて、使いやすい公園になるように目指して我々はやっております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの件ですが、地元の要望ということですが、もう少し大きく見れば、当初の設計の中に本来入れておいたほうがよかったものが入っていなかったみたいな、そういうことなんですか。それとも、やっぱり地元の要望ということで、新たな追加ということなんですか。もう一度お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 今回の築造工事は新たに道路をつくる工事でありまして、工事の形態ができた段階で、地元からそういうような施設が欲しいという話があって、道路を安全に使うためには必要かなという判断をさせていただいて、追加させていただきました。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 今回は、これは予算の範囲内におさまっているんですね。もし、おさまってなければ、そういったことって、ちゃんと補正を組んで、新たな事業として、あるいは追加ということで議会に出さざるを得ないんだと思うんですけど、たまたま予算が

残っているところというふうに加えられるというふうな傾向があるんじゃないかなというふうに見るんですが、それはどうなのでしょう。なので、追加工事については、今やってみて、後から新たにということだったら、こういうふうには、決算のときでなきゃわからないというような、そういう追加の仕方というのはちょっと余り感心しないんですけど、改めていただけるのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 追加工事は一応予算の範囲内でやらさせていただいておりまして、同一事業でやったほうが経費が安くなるという場合もありますので、その辺は比較検討させていただいて、同一の工事でやったほうが有利かなということでやらさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 大分間があいてしまったんですけど、先ほどの建築相談件数の件で訂正がありましたね。それで、三、四件ということだったら前と同じぐらいのペースかなと思うんですが、2件ということであると、5カ月で2件ということで、前よりも明らかに、29年度のゼロよりはいいですけども、前よりはやっぱり不便になっているのかなと思うわけですが、この1週間前に予約をとというのは、どうしても、今、4人いらっしゃるんですよ、その委託といいますか、お願いする場合に。どうしても1週間前じゃないと困るというふうに言われているんだったらしょうがない面もあるかもしれませんが、できれば予約日数を短くするような、利用しやすくするような検討はされないでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 私どものほうでも、やっぱり使ってもらえないといけませんので、少しでも利用しやすいように少し考えてみたいと思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の78ページの同居リフォーム促進補助金ですけど、補助事業、これも実績4件、103万2,000円ですけど、これも去年は2件なんですね。2件が、倍になって4件。私の感覚でいくと、先ほどの社宅と基本的によく似たというか、構造か

なという認識を持っておるんですけど。やはりせっかく制度として新設した以上、市民の人に利用していただくというのがやっぱり基本だと思うんですね。そういう点からいくと、その下の親との同居・近居は147件の利用をいただいていると。そういうことからいくと、やはり同居リフォーム3世代という、この制度、補助金の仕組みがやや問題があるんじゃないかと思うんですけど、この4件、あるいは昨年2件、これについても、どういう認識をお持ちなのかお伺いしたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） なかなか実際のところ、3世代同居といいますと、なかなか今の社会事情、実際少ないというふうには、私も個人的には思います。それで、そうではありながらも、やはり国の補助金とか県の補助金もいただいておりますので、その事業の下に乗っかっておりますので、私どもは少しでもPRをしながら続けていきたいと考えております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 この同居リフォームは、国の補助金の対象で、補助金は出ておるんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 済みません、ちょっと私、勘違いしております、これにつきましては市の単独事業でございます。申しわけございません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 市独自の、単独のはずです。いつの間に出たのかなと思ったんですけど。そういうことからいくと、4件、2件というこの実績に対しては、私と同じような認識を持ってみえるということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 私、個人的な意見ですが、そのとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 いずれにしても、制度、仕組みなり、こういうのは、いわゆる企業でい

えば商品力みたいなものなんです。ですから、市民の人の利用が少ない、やはりせいぜい10件以内のものは、どこかにやっぱり、制度上なり仕組みなりに見直す要素があるというふうに思いますので、ぜひこの4件の103万2,000円というこの実績が上がるような方策で見直すというような考えは、もう一度聞きますけれど、例えば3世代というのは、この前の近藤ひろひで議員の一般質問じゃないですけど、何かプレミアムをつけなければいけないというような認識、非常に難しいという気がするんです。そういう点からいくと、ちょっとくどいようですけど、この3世代を削って2世代にするとか、あるいは全面的に見直すとか、先ほどのような認識で4件を、ぜひこの同じような認識を持っているという理解をしてよろしいですか。くどいようですけど。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 一度、建築のほうの担当とも検討してみたいと思います。終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 坪野副市長。

○副市長（坪野順司君） 先ほどの社宅整備の話もそうですけども、今回の同居リフォームもそうですけども、ひと・まち・しごとの中で、住むところ、働くところというところの施策の中に組み込んできたわけですけども、ただ、これが、今、委員さんが言われるように、やはり効果が上がっていないというところはやっぱり検証するべきかなと思っています。ただ、始まったところでも、ある程度やっぱりどういう形で今後やっていくかということと、それから、どこの時点でここを今度は切るのか、中身を変えるのかというのは、もう少し検討していくべきかなと思っていますので、もう少しは何年かと言われると困りますけど、もうちょっと見ていただければ結構かなと思っています。

以上です。

（待っても3年の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 先ほど、今のところの下件の件数がふえているほうの、親と同居・近居購入費補助事業事務のほうですけど、これ、ふえていって、それ、倍増以上になっているんですね、前が70件ですから。なんですけど、予算で用意しているのは1,190万円でしたから、そこまでは至っていないというところなんですけど、その現状についてはどういうふうに分析されていますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 実際のところ、私ども、1年当たり85件という形で最初は読んでおったんですが、実際、そこまで実績のとおり至らなかったというのが現実でございます。実績につきましては、28年につきましては70件、29年度は147件なものですから、28年から事業が始まっておりますので、1年目、2年目、3年目という形になっていきます。ですので、29年度だけでいきますと、147引く70の77件という形になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 ここに載っているのは累計なんですか。この29年度の件数ではないんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 29年度の件数なんですが、先ほど言いましたように、28年から事業が始まっており、3年間という事業でございますので、28年の方が29年度にも申請していただくので、28年分と29年分で合わせて147件と、こういうことでございます。

○富永秀一委員 そういうことですね。積み重なっていくと。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 その質問が出ましたので、関連でお伺いしたいと思いますけれども、たまたま近居をすることになったとか、同居することになったという人もいるだろうし、市外で建てるつもりだったのが、この制度があるから豊明に入ってくるという、まさにこの制度の趣旨に沿ったケースもあると思うんですね。その辺のところは、どのように評価してみえますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 29年度の実績でいきますと、77件の方が申し込んでいただきまして、市外から市内に入ってみえた方が28件ございました。割合にしますと36%でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ほかの内容に移ってもよろしいでしょうかね。よろしいですかね。

78ページの木造住宅の耐震診断補助事業事務のあの続きでよろしくをお願いします。

木造耐震の診断、29年度は24件だったんですが、東日本大震災の後、23年のときが82、24年が50、24年が31、26年が46、27年が36、28年が30で29年が24と。これ、残念ながら、毎年減っていつているのかなというふうに認識はしております。たしかローラー作戦をやったと思うんですが、毎年やっていますもんね。29年度のローラー作戦の実施地域とその反応、ローラー作戦の、その辺を聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 29年度の実施地域ですが、阿野町で行いました。実際、我々担当で回っていろいろ御説明していく中で、やはり昨今地震が多いということで、皆さんが心配されてみえるのは確かなんです。いろいろ制度等を説明しまして、パンフレットまで置いてくるわけですが、じゃ、私、興味がありますので申し込みに行きますという方も数名みえるんですが、実際のところ、なかなか足をお運び願えていないというのが現実でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 29年まで、耐震診断、ずっとやっているんですが、29年までで実際耐震診断した総数と、昭和56年以前に建てた木造住宅のその割合、大体何%が耐震診断したかという、そういう数字は持っていないでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） ちょっと少しお時間ください。調べます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 たしか、これ、下のところの改修のほうは、これ、11件がマックスだと思ったんですが、これは間違いないでしょうか。上限が11件だったのか、予算上の。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） マックスではございません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 これ、何件が上限なんですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 15件でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 こちらも11件、実際に検査の工事までしたのは11件なんですが、問い合わせからすると15件以上はあるんでしょうか。関心を持って、実際のところ、その辺はつかんでいるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 問い合わせにつきましてはぼちぼちあるんですけど、実際、29年度につきましては11件ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 決算書の53ページの一番下の表が、この款に当たるかどうかちょっと微妙なんですけども、下から2つ目の都市計画費寄附金45万円というのがあるんですけど、これはどういうふうに当たったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この寄附金でございますが、勅使水辺公園の周遊路にベンチを2基、名古屋競馬さんから寄附をしていただきました。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 また同じく78ページの木造の耐震なんですけど、これも実際耐震診断をして、実際、29年度までに実施率、パーセントではおおむね何%の方が診断をしてから工事を実際に行っているのか、その数字はつかんでいるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） ちょっと一度調べさせていただきます。

○早川直彦委員 あと、もう一つお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 予算上では耐震シェルターのほうも予算があって、ここには実績が全くないということは多分ゼロだと思うんですが、耐震シェルターに対する問い合わせというのもあったんでしょうか、29年度に。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 電話のほうで1件あったということは聞いております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の63ページの上から5つ目にあります歩道橋命名権収入、これは新しく昨年度から始まっていますが、当初どのぐらいの見込みというか、目標設定で、私が知る範囲では1つの歩道橋は存じ上げているんですが、どのように営業というんですか、動かれたのか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） PRのほうはホームページに載せました。あと、商工会のほうにチラシをお配りしてお願いに行きましたが、結果的に1件で、3月から一月分ですか、1件の歩道橋で終わってしまいました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の75ページ、お願いします。

一番下の道路維持修繕事業のところの、この文の2行目の後ろのほうのところですが、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、万場橋・若王子3号橋の修繕を行ったというふうに書いてあります。昨年も、この長寿命化計画に基づいて橋のほうは行われているということですから、きのうの質疑で、公共建築物については長寿命化計画に基づいて行われていないような答弁でしたけれども、橋梁のほうは、この計画に基づいて行われているのかどうかということの確認が1点。

それから、2点目ですが、この計画どおり行われているということであるとすると、公

共施設白書で、インフラでトータルで約450億ぐらいの修繕、更新費用がかかるというようなことが書いてあるんですけども、そのうちの橋梁部分は幾らで、橋梁がこの長寿命化計画によって幾ら圧縮されることになるのかということについてお尋ねしたいと思います。ちなみに公共建築の場合は96億、これは80年間で96億というような計画で数字が示されておりますけども、橋梁の場合はどういうふうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 橋梁に関してですけども、大きな橋が11橋あります。そのほかに小さな橋とかいろいろありまして、それは5年に1度の目視検査をずっと続けております。その計画に基づいて、毎年毎年どの橋を点検をして、その点検に基づいて、補修が必要なら補修をやっていくという形で計画に基づいて実施しております。白書のほうの関連については、ちょっと承知しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） 白書のほうは、建物に関しては出していますけど、インフラは、これぐらいかかるよと、将来的には負担はこれぐらいかかるよということを出しているんですけども、長寿命化によってどれぐらい削減できるよという部分は出していないので、それは個別の、今言った橋梁の長寿命化に沿ってやっていくということになります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 5年ごとの点検で修繕を行っていくということだと、それは長寿命化計画ということではなくて、従来も行われていたということでしょうか。従来は点検もされていなかったということですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 従来は点検もされていなくて、5年に1度点検しなさいということで義務化されておりました、それに基づいて長寿命化計画をつくりなさいということも言われておりました、それに基づいて、今、点検をやって、必要があれば補修を施していくというスタイルでやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 坪野副市長。

○副市長（坪野順司君） 補足ですけれども、長寿命化計画というのは10年ぐらい前からあったんですよ。それは橋長が長い、15メートル以上だったかな、だから、そんなになかったんですよ。ただし、中央道の笹子トンネルのつり天井の崩落事故から、国土交通省のほうで、トンネルと橋梁については5年以内、トンネルと橋梁については必ず義務化としてやらされたのが五、六年前なんですよ。それで、だから長寿命化計画と橋梁の点検とは一緒のことなんですよ、義務化されたのは今の5年ごとの計画をしてやりなさいと。それで、それに基づいて修繕しなさいということになったんです。だから、今、この中で万場橋とかやっていますけど、その5年計画の中の修繕工事ということでございます。ただ、それが長寿命化にも当たってくるんですよ、結局のところは。ということで理解していただければ結構ですけど。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要の48ページの下段、公園施設改修事業で、これ、国庫支出金が500万、予算の段階で、県支出金が330万当たるはずだったものが、少なくなった理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） ちょっと今、聞き取りにくかったので、もう一度済みません、申しわけありません。

○清水義昭委員 概要の48ページの下段で、国と県の支出金が少なくなった、予算よりも、この理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 我々は規定に基づいて交付申請をしたところなんです、交付率のほうで100%つかずに、満額交付されなかったということがございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 その1つ上、桜ヶ丘沓掛で、これ、国庫支出金で1億2,170万見込んでいたのが、結果的には2,583万しかもらえなかったと。これ、決算額、相当上がっているのは、要するに追加で補正などやったあれですよ、工事があったという、補正じゃない、契約

変更でやった、あの工事があつたからだと思うんですが、そのときも、できれば補助金、できるものならもらいたいという話もありました。それも多分恐らくもらえなくて、しかも、そもそも予定していたよりも相当低い金額しかもらえなかったということだと思うんですが、そのあたりの事情を教えてもらえればと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 我々は国の交付要項に基づいて交付申請をやらせていただいておりますが、国も当然、社会資本整備交付金の枠を持っておみえになります。それで、やっぱりいろいろ、今、維持管理とか修繕とか、そちらのほうにメインに行っておりますので、ホームページの交付の割合が、どちらかというメンテナンス工事のほうに厚くされております。この桜ヶ丘沓掛線につきましては新設工事でございますので、そういう観点からも、補助率の交付率が下がっておると私としては思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 そうすると、追加工事の部分については、もう全くゼロだったというような感じですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） そのとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 まだ答弁が、多分ない。できそうですかね。まだないですか。

じゃ、また78ページ、実績報告書の78ページの木造住宅の改修の補助事業事務について聞かせてください。

各市町、県内の市町の中でも、耐震の耐震改修をして古い建物を改修すれば、地震のときに火災が防げたりとか、そういう効果のために、除却も、これ、国や県の補助もつくようになりましたので、除却を、前も一般質問したことがあるんですが、除却を始めたところ、また、上限の補助よりも、市町によっては若干プラスアルファして上げているところもあるんですが、PRも含めてなんですが、そういう金額に対してのものとか除却に対するもの、29年度に、そういうことも検討、実施はされていないけど、そういうことも検討

されているのでしょうか。そういう除却をやろうとか、その辺はちょっと、29年度はそういう話し合いをしたのかどうか教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 今、早川委員が言うのは除却の話ですが、30年度より国のほうの補助金もつくようになりまして、それで、国と県の補助金がつくようになりました。それに基づいて私どもも便乗しまして、30年度は予算として計上させていただいております。申し込みについては、今のところはゼロ件でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 そちらは、特定空家のほうじゃないんですか。除却のほうなんですか。私がちょっと勘違いしていたのか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 不良住宅と空き家と両方ございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の78、79ページあたりの市街地開発費の関係でちょっとお尋ねをしたいと思います。

寺池とか、あるいは間米の関係の、土地区画整理の関係でいろんなことが行われておりますけれども、昨年度のときに、この区画整理の、例えば道路とか調整池とか、そういったものに対する補助についての調査事業を行われました。それで、どういう補助をするのかということは、まとまったら公表するというようなお話でしたけれども、その補助制度の内容というのは、29年度はまとまっているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○市街地整備課長（宇佐見恭裕君） 現在、一番近々に補助が必要になるというふうに見えるのが寺池の区画整理事業かなというようなことで、寺池地区につきましては、これまでの小規模な補助要項を、若干、地区外から流れ込む水路とかの補助みたいなものを余分に寄せさせていただいて交付していくような形で今考えておるところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほど、早川委員の宿題になっておる部分ですが、お答えいたします。

診断の件数ですが、1,545戸、あと、改修率につきましては20%となっております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の80ページの都市下水路費のところですけど、これ、下水道事業特別会計繰り出しの部分ですけど、これ、下水道事業の特会のところでもいいのかもかもしれませんが、繰出基準額、基準財政需要額に算定できる金額としては幾らなのか、それとの比較をしたいので、わかりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

花木下水道課長。

○下水道課長（花木喜久治君） 基準内外の話でよろしいですか。5億9,941万5,000円に對しまして、基準外が7,089万5,000円、基準内がその差の5億2,852万円でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の143ページ、下から5つ目の道路維持等作業、これが前の年、64件あったのが37件と半分近くになって、金額も減っているんですが、これはたまたまなのか、何か抑えたようなことがあるのか。逆にその下の、2つ下、これ、雑木撤去等作業、これのほうは前年1件から17件、金額が3倍になっているんですが、これ、もしかすると、風の影響で倒れたとかというのがあったのかもかもしれませんが、例えば何かはみ出している木を切るというようなことを意欲的にやったとか、何かそういう関連があるのであれば、それもお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） この増減については特に操作しているということではありません。偶然こういうふうになった。

（たまたまの声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） はい。です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 先ほどの78、79の市街地開発費の関係、寺池・間米の区画整理の関係ですけれども、寺池が先行しているということですから、この区画整理区域内の下水道の整備、これは阿野平地は市のほうでやったわけですから、これ、下水道特会のほうで聞いたほうがいいのか、こちらで聞いたほうがいいのか、ちょっとよくわからないのでこちらでお聞きするんですけども、寺池のあの区域内の下水道は、現在のところ、市のほうで整備をするのか。ほかの市では区画整理組合に下水道を整備してもらおうと。現に水道企業団なんかは、水道設備は全部区画整理でやってもらっているわけなんですけれども、その辺のところは現在どういう話になっているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○市街地整備課長（宇佐見恭裕君） 今のところは、組合のほうで施工をお願いしたいというふうに考えてはおりますが、まだ地区計画が策定されておりませんので、まだ流動的でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 78ページのまた同じところの、先ほど答弁いただいた木造住宅の1,545戸で実施率20%というのは、これは耐震診断をした方の工事、実際に工事に移ったということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） そのとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の185ページの一番下ですけど、これ、桜ヶ丘沓掛のこの築造工事の附帯工事のほうですね。これが43万8,480円上がっておりますけど、この理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 現場のボックスカルバート脇の地山補強土どめの側道側

を安定させるために、現場のほうに大型土のうを積ませていただきましたのがまず1点。
あとは自立式擁壁工の汚泥処理を行わせていただきました。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 ちょっとごめんなさい、早口でちょっと聞き取れなかったんですけど、ボックスカルバートの何が何でしたか。

○都市計画課長（近藤 潔君） ボックスカルバートの脇の部分の側道をつくるために、地盤が安定するように、大型土のうを現場のほうに設置させていただきました。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ちょっと確認させてください。

76ページの2目の道路新設改良費の部長の一番最初の説明のときに、区長要望工事15件行いましたというふうなたしか言われたような覚えがあるんですが、区長要望工事、29年度の道路に関するものの要望の件数が何件のうちの15件だったのか、説明していただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 調べさせて回答させていただきます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 29年度は、区長要望33件のうちの15件です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

職員入れかえのために10分間休憩とします。

午後3時16分休憩

午後3時26分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

9款 消防費について、順次説明願います。

石川部長。

○市民生活部長（石川晃二君） それでは、歳出、9款の概要について説明をいたします。

実績報告書の82ページをごらんいただきたいと思います。決算書は174ページ、175ページからになります。

1目 常備消防費は対前年度比3.2%の増、約1,688万円の増額となっております。主な変動要因は、給与改定及び定期昇給等の給与異動に伴う人件費の増でございます。主な事務事業といたしまして、火災予防事業では、防火査察、建築同意といった予防事務、町内会、各種事業所等を対象とした訓練事業、及び高齢者宅への防火訪問を行いました。

次に、救急活動事業では、救急救命士1名を養成いたしました。救急出動件数は2,985件で、1日平均8.2件となりました。また、市民や各種団体等を対象に心肺蘇生、AED取り扱いを主とした普通救命講習、救急講習を合わせて136回実施し、全体で5,294人の方に受講をしていただきました。

続きまして、2目の非常備消防費は、対前年度比7.8%の減、約263万円の減となっております。消防団員の退職者数の変動による退職報償費の減が主な要因でございます。

次に、3目の消防施設費は、前年度比9%の減、約614万円の減となっております。また、40メートル級のはしご車のオーバーホール3,326万4,000円は、29年度9月議会において繰越明許費を認めていただいたもので、執行率60.5%の要因でございます。

消防施設設置事業といたしまして、防火水槽、南部児童館でございますが、南部児童館に新設をいたしました。増減の主な要因といたしましては、広域化に伴う通信共同化使用料負担金、データ移行等負担金、施設改修負担金、通信機器撤去費、委託料の約2,200万円の増、それから、平成28年度に購入しました高規格救急車が完了したことによる差額が主なものでございます。

続きまして、4目 災害対策費は、対前年度比8.2%の増、約177万円の増額となりました。主にコミュニティー助成金、これは28年度でございますが、助成金が190万円が完了したことによる減、それから、防災専門員が平成28年度は約8カ月間不在でしたが、29年度はフルに勤務したことにより、約300万円の増となったことが主な要因でございます。

委託事務事業の詳細につきましては149ページから151ページに、補助事業の実績等につきましては175ページ、主要工事等の実績については186ページに記載してございます。

続きまして、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の8ページをお願いいたします。

消防費の消防施設費において、負担金、補助及び交付金の297万円余につきましては、立ち上がり消火栓設置等補助金62万円、それから、広域化データ移行負担金120万円、共同化

使用料等負担金57万円が主な内容でございます。

以上で、9款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 資料ナンバー16について説明をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 羽場防災防犯対策室主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） それでは、資料ナンバー16について御説明申し上げます。

消防救急出動地区別月別の実績ということで資料の提供をいただきました。順次御説明申し上げます。

1番、救急の出動地区別活動状況、こちら、別紙1のとおりでございますので、別紙1を御確認ください。ここは、平成29年4月から平成30年3月いっぱい、要は平成29年度分の救急の区別の統計でございます。総件数が2,985件でございます。一番多い災害種別といえますか、救急種別は、ちょうど真ん中より右のところ、急病でございます。こちらが救急種別として一番多い内容でございます。一番下のところ、市外と記載してありますが、こちらは豊明のほうから市外へ出ていったことがあるということでございますけれども、これは応援をもらって出ていくというよりも、高速道路上での救急ですね。伊勢湾岸道路上、あるいは刈谷市にございますハイウェイオアシス、こちらでの救急事案というのは豊明から出るという申し合わせでございますので、そちらに行ったと。必ずしもハイウェイオアシス、あるいは伊勢湾岸には限らないんですけども、例えば市境の、名古屋市と市境のぎりぎりのところへ出動していったら、たまたまそこが名古屋市の場所だったとか、そういう件数でございます。

続きまして、別紙2、月別救急出動状況をごらんください。これは月別の救急の出動状況を一覧にまとめたものでございます。一番やはり多いのが1月、341件で、今まで過去、私の把握する限り、ここは最高の出動かなというふうに思っております。

資料ナンバー16に戻っていただきまして、3番、救急救助、ペア出動、合計ということでございますけれども、平成29年度、救急隊PA出動、これ、私ども消防は、通常はペア出動と呼ばれることもありますけれども、我々消防のほうではPA出動と呼んでおります。ポンプ車と救急車、ポンプとアンビュランスの出動で、それが531回発生しております。

続きまして、4番目、非常招集の件数でございます。これも平成29年度でございますが、

火災または救助、救助というのは、例えば交通事故とかで車の中に閉じ込められたといった事案に出動するものでございますが、そちらは28回。それから、救急が45回。これは、29年度中、豊明市は救急車が3台ございまして、その3台が出動した場合に非番招集を基本的にいうということで、それが45回ということでございます。続きましては、その他、この16回ですが、このその他というのは、我々消防の出動区分では警戒出動というのがございまして、例えば交通事故で油が漏れたとか、怪しい煙、怪煙と呼んでいますが、怪煙があるとか、そういった事案で招集の必要があったからということなんです。

最後の5番目でございます。これは市外からの相互応援の件数です。平成29年度12件を応援を要請をしております、この全ては救急出動でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 質疑の、ほかに。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、最後に説明していただいた市外からの相互応援の12件ですけれども、応援してくれた相手先がわかれば教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場対策室主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 尾三消防本部と大府市消防本部でございます。件数は、尾三消防本部が8件、大府市消防本部が4件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページ数は、82ページ、火災予防事業ということでこちらに書いてあるんですけれども、以前、一般質問でお話をさせていただいたこともあったんですが、これ、対象になっている物件について、100%行えていなかったんじゃないかなと思うんですけれど、割合は、これ、わかるでしょうか。もし、年報に、もう既に出ていたら済みません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） ただいまの御質問でございますけれども、ちょうどその火災予防事業の1の（1）防火対象物の査察件数でございますけれども、これ、済みません、ちょっと約で申しわけないんですが、市内には約2,200程度、防火対象物と言われるものがございます。それに対して206件ということですので、約10%査察を行ったと。

続きまして、危険物施設、この危険物施設というのはガソリンスタンドとか、そういった消防法上危険物と言われるものを取り扱っている施設でございますが、これは100%立入検査を実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、説明していただいた市外からの相互応援ですが、尾三からの8件は、どちらかという、資料別紙1の東沓掛とか西沓掛とか、どっちかという尾三消防に近い地域への救急に対する応援で、大府については逆に南部のほうというような、そういった傾向があったのかどうか教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） まず、今の御質問でございますが、大府の消防につきましては、いわば市内の南部地域での応援でございます。尾三消防につきましては、北部と申しますか、沓掛もございまして、前後ですとか、いわば市内の中心地の応援もございまして。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 関連の質問になると思うんですが、実績報告書の82ページの救急出動件数2,985件、これは資料にも載っているんですが、その中で、心肺蘇生、心臓マッサージとかAEDを実際に市民の方が使ったという件数、CPRをした件数について教えていただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） お答え申し上げます。

平成29年度、C P A 事案、要は心肺停止事案につきましては42件発生いたしております。そのうち、バイスタンダーと呼んでいますが、そこに居合わせた方によるC P Rの件数が18件でございます。18件のうち、A E Dを使用した例は2件確認しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 いただいた資料に転院、それから、搬送というのがあるんですが、これは病院から病院ということですよ。これに救急車が要請されるというのはちょっと、私は意外だったんですが、結構件数が多いので、どこからどこのこういった転院なのか、また、お断りというか、そういったようなこともあるのかどうか、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 今の御質問の転院搬送というのは、おっしゃるとおり、病院から病院への転送でございます。この件数が239件であります。どこからどこへというのは、個々の病院の、今、件数まで私、ちょっと手に資料がないんですが、この転院搬送というのは、要は、診療所といいますか、入院施設がないようなところに搬送した場合、そこに、搬送をする前ですね。例えば、傷病者の方が最寄りの医療機関を受診されて、そこで手に負えないような重大な疾患、あるいは負傷があったとすると、そこで、市内でいきますと大学病院がございます、そういった高度な医療施設へ搬送する、これが転院搬送となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの市外からの相互応援の12件ですけれども、これは当然豊明の3台の救急車が出動中に救急依頼が来たから、4件目というのかな、フォースが発生したときのことという理解でよろしかったでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） おっしゃるとおりですね。4件目の事案でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書のまた後ろのほうなんです、186ページの9款 消防費の防火水槽の工事ですね。南部児童館の工事について聞かせてください。

これも99.4%の落札率で、変更の工事があって101.4%となっております。変更の工事に至ったその経緯、何をしたのかというところを説明をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 今、御質問の防火水槽の、設置工事に係る変更

でございますけども、こちらは現地、現場での立ち会いの結果、その施工の支障になる植栽がございました。その撤去に要する費用が1つ。もう一つが、防火水槽を掘削している中、既設の側溝が暗渠していたため撤去をしたもので、変更が生じております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の83ページの金額的に大したことないというか、差は大したことないんですけど、女性防火クラブが、去年が131万3,000円の交付金で、ことしが131万6,000円で、微妙に3,000円違うんですね。これは交付金の配付基準というか、人数に金額を掛けているか、この配付基準をまず教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） お答え申し上げます。

以前は各支部一律3万円を交付しておったんですけども、今は人数に応じて交付しております。最大、1支部3万円の支部があったり、2万9,000円の支部があったり、2万8,000円の支部があったり、その支部の人数に応じて交付をしておるものですから、この差が生じたということでございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 支部の数と、それから婦人防火クラブの人数、わかりますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 平成29年は31支部、1,202名でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 わかればいいですけど、1,202名の平均年齢ってわかりますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 私ども、年齢まではつかんでおりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同様に実績報告書の186ページの下の段の防火水槽の撤去工事について聞かせてください。

これ、入札が3回目だったんですね。入札が3回目で98%の落札率。これは工事変更をされて減になっています、87.2%まで落ちたんですが、入札の回数が多くて逆に減ったという、何か複雑な工事だったのがそこまでは至らずに済んだとか、何か特殊な理由でもあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 今の防火水槽の撤去の工事で減額となっております。減額の金額が32万1,840円ですが、この理由としまして、現地で施工したところ、防火水槽の断面がちょっと設計と異なっておりまして、掘削する深さが浅くなったということで、道路の舗装工等の撤去などの復旧が不要になったということで安くなったということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の183ページです。上の消防設備費の飲料水兼用貯水槽の維持管理負担金2万5,000円なんですけど、これは中央公園の下にある大型のタンクのものについてだったのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 飲料水兼用貯水槽でございますが、中央公園に設置してあるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 以前からも、訓練などで実際飲んでみてはというお話とかをさせていただいておったんですが、いろいろお話しする中で、一度実際使えるかのような点検調査もというお話があったように記憶しているんですけど、この2万5,000円でその調査などはされているかどうかはわかりますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 愛知中部水道企業団のほうで水質検査というの

を執行しております、その結果が当時の消防総務課のほうに報告があったということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 今度は151ページの4目 災害対策費の上から4つ目、災害時協力井戸水質等分析調査委託料について聞かせてください。

これは善意の井戸の関係のものだと思うんですが、29年度に井戸の協力をいいよと、新規でやられた方と、今まで登録している方と、件数についてまず教えていただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

塚田防災防犯対策室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 現在73名の方の井戸の登録がございます。毎年20件の件数ずつやっていて、5年に1度ぐらいは検査が回ってくる形で調査のほうをしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 新規の方は29年度はいなかったのかどうかということと、もう一つお願いいたします。20件ごと毎年やっているということなんですが、もし、災害時などに、多分、看板ですか、何かつくって出すようにというものが多分あったと思うんですが、そういうものの確認とか、こういうふうにしてくださいよというアピールというのは29年度されたんですか。一度お願いしたらもうそのままなのか、数年に1度は確認をしているのか、その辺を29年度に行ったかどうか聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 29年度の新規の登録はございません。それで、29年度中に井戸が提供できますよという看板とかの確認作業はしていないのが実情です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 善意の井戸のお願いが一度あれば、もうそのままという、今までそのままだったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 登録の方は、5年に1度、通知のほうを出しますの
で、その際に、もう井戸のほうは枯れているとか、枯れていないとかの連絡がそこでとら
させていただいて、更新のほうをしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかに。

早川委員。

○早川直彦委員 そういう看板みたいな、善意の井戸、協力とかってたしかあったような
覚えがあるんですが、そういうものの確認もしているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） その通知の際に、看板等の確認のほうは今現在行っ
ていない状態です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 先ほどの資料のナンバー16で、市外から相互応援の件数というところか
ありますけれども、この市外からの相互応援というのは、3台出払って、救急車が3台出
払って、4台目にならないと来ていただくことができないということだったと思うんです
けれども、通信システムがもう何年か前に尾三消防に入って、共同で運営しておったわけ
ですよね。それで、その尾三消防では、例えば豊明の、東郷とかみよしに近いところでこ
ういう事例が発生して、みよしなり東郷なりから救急車が出たほうが近いということがわ
かっているけれども、豊明の4台目になるまでは豊明から出動という、そういうルールで行われ
ていたということによろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） お答え申し上げます。

平成29年度までは、御承知のとおり、豊明市消防本部で豊明市の消防として活動してま
いりました。消防は市町村で責任を有しておるものですから、豊明市の案件は、第一義的
には、基本的には豊明で処理してくださいと。後藤委員がおっしゃる、通信司令室で他の
救急車の動きも当然わかるんですけども、まずは豊明市のことは豊明市で対応してくださ

いということを進めてまいりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 先ほどの早川委員の回答で1点訂正があります。善意の井戸の看板のほうは設置されておられません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 先ほどの通信システムの件で、尾三消防の本部のほうではわかっている、市町村ごとだから出れないというようなことでしたけれども、私が県のほうにお聞きしましたら、それは市町村間で合意ができれば、別に1つの消防組合にならなくてもできるという、県のほうではそういうお話でした。そういうお話でしたけれども、それじゃ、そういうふうにやろうというような、そういう話は、豊明の消防組合とほかの消防組合と、そういう話はこれまでは出なかったわけですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 繰り返しになりますけれども、消防機関、いわゆる市町村消防の原則の中で、他の自治体に応援を求めること、それは当然消防組織法上できます。ただ、それは、何がなんでも応援しなければならないという強制的なものではなくて、応援するように努めなければならないというまず前提の上で、基本的には市町村でまず対応してくださいと。つまり、豊明市の案件は豊明市で対応してください。そこで、どうしても次の救急車が必要であるとなった場合は他に応援するわけでございますけれども、ただ、その一方で、通信指令業務をやっておるものですから、そこで他の動きがわかるということも、それは当然わかります。そこで、じゃ、東郷の救急隊を、次に4件目が発生した場合、出したほうがいいのか、あるいは大府にお願いをして大府から来てもらったほうがいいのかということ、それはそこの現場まで着く時間と救急車の動き、全てを勘案して判断していたものと思われまます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどの善意の井戸の件なんです、これ、過去に私も一般質問して、

その板があるというのはそのとき答弁した覚えがあるんですが、当時。消防のほうに担当が変わってからはもうやめちゃったということなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 当初この善意の井戸の制度は環境課のほうでやっていた。それで、うちのほうの防災のほうに所管がえになったんですけど、その変えてから、かわってからは私どものほうは配備していないので、ないという認識であります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 別の案件で、もう一つだけ確認したいんですけども、尾三消防の通信システムでわかると。わかるけれども、原則どおりにやっていて、できるけども、近いところに応援を出すというようなことはしないというやり方でやってきたということですけども、それを、応援体制をとるようなことをしたらどうかという、そういう話し合いはされてこなかったということで、そういう理解でよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 尾三消防本部に平成25年から運用しております通信指令センターは、それぞれの身分を持った長久手と旧尾三と豊明の職員がそこに集まって運用してまいりました。そうした中で、同じ1つの指令センターでございますので、その中で、いかに早く現場に応援があった場合着くですとか、そういった話し合いはされてきたものと思っております。そうした中で、先ほど申し上げました市町村消防の原則があるんですけども、場合によって、東郷から、あるいはみよしの南から来たほうが、そのときの事案がそのほうが早いと判断すれば、それは豊明の消防、豊明市の職員としてそこに詰めておるものですから、その者が尾三消防の職員に応援をすると。その中で、そこに消防長はいないんですけども、消防長権限を持ったといえますか、管理職がおりますので、その者が応援を必要に応じてやっておるということで運用してまいりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかに。

塚田室長。

○防災防犯対策室長（塚田 力君） 先ほどの早川委員の善意の井戸の看板の件ですけど、今年度中に看板のほうがあるかないかの調査をしたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 もう一つ確認したいところがあります。82ページの高齢者宅の火災を未然に防ぐための75歳以上の高齢者2人世帯に対し防火訪問を実施した。29年度は75歳以上ということで調査をしているんですが、多分、毎年回るときに目標を多分、例えば消火器の設置状況とか火災報知機、法令化されてから10年たちますので、電池、ボタンを押して確認しなさいよとか、何かその目的、ここの部分、家具の転倒防止とか、何か目的を持って回られたのでしょうか。また、その回ったことによって、何か新たな対策を練らなきゃいけないようなものは発見できたところがあるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 委員の今御質問の高齢者宅防火訪問、これにつきましては、当時の消防総務課が主管となりまして実施をしておりました。その中で、着眼点といいますか、現地にお邪魔させてもらいまして、基本的には、まず、条例で義務化をされています寝室に住宅用火災警報器があるかないかということを確認いたします。それは中に上がるということではなく、玄関先で、ついていきますかというまず確認をさせていただきます。その中で、ついていないよとなった場合は、条例で義務化されておるものですから、それはつけてくださいねというお願いをさせていただくとともに、ちょうど住宅用火災警報器が平成18年から設置が義務化されております。ちょうど今、約10年たっておるものですから、今一番心配が、電池切れですね。電池切れ、10年で取り換えが推奨されておるものですから、10年たったら取り換えてくださいねということを説明をさせていただいております。

それから、あわせて、せつかくというか、お邪魔させていただいておるものですから、関連する関係の課に照会をかけさせてもらいまして、例えば家具の転倒の防止のチラシをお配りしたり、昨年度でいきますと、今の防災防犯対策室とちょっと連携をいたしまして、あいちレディース4の方、可能な限り同行していただいて、振り込め詐欺ですとか、そういったものもあわせてちょっと実施をしてまいりました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 前回、いつも80歳、75歳というふうに変えてやっているんですが、前回

の75歳のときは448名で、約280名ほどふえているんですが、これは対象者がふえたということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 27年度は701名の方が対象で、448世帯を御訪問させていただきました。29年度は対象が870世帯が対象になりまして、そのうち625世帯に訪問をさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 決算に関することに絞って質問する委員会、特別委員会ではないですかね。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 今の質問がどの辺が決算と関係ないという。

○村山金敏委員 何かこう、広く、決算には関係あるんですけどね、多少さわるんですけど。

○決算特別委員長（近藤善人議員） じゃ、質疑続けます。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 いただいた資料の救急の出動の合計が2,985件だったんですが、その中の3台とも救急車が出動した回数は非番招集の89回という、そういう理解でよろしいんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

羽場主幹。

○防災防犯対策室主幹（羽場浩一郎君） 非番招集の3件ということは、あくまでも3件というのは目安といいますか、1つの基準でございます。例えば、今、救急車がこの時点で1台出動しました。1分後に1台出動しました。また、その1分後、3分後に3台出動しましたという1つのパターンがあったとします。その一方で、1台が出動しました。2台目は30分後に1台出動したとなると、1台目が帰ってくる可能性があります。そういった点から、全てが3件ということでもなくて、いわゆる、我々、トリプル出動というふうに呼んでいましたけども、3件同時出動した件数でございますが、125件、出動をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

ここで、理事者側入れかえのため、5分間休憩といたします。

午後4時休憩

午後4時5分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

10款に入りますが、本日中に10款を終わりたいと思いますので、当局側、委員の皆さん、御協力よろしく願いいたします。

10款 教育費について説明をお願いします。

小串部長。

○教育部長（小串真美君） それでは、教育部の平成29年度決算について決算額が大きく変動した事業を中心に御説明いたしますので、よろしく願いいたします。

まず、主要施策の実績報告書の85ページをお願いいたします。

中段の3目 教育振興費ですが、前年度に比較し約6,300万円の増額予算で実施し、教育相談事業において市南部地区にフレンドひまわり栄をオープンしました。また、北部、フレンドひまわり勅使ではトイレ改修工事を実施し、教育相談員、指導員の増員とあわせ、不登校児童への教育相談を充実することができました。執行率は98.6%でございました。

次に、89ページをお願いいたします。

上段の3項 中学校費、1目 学校管理費は、平成28年度に豊明中学校、栄中学校の屋内運動場非構造部材耐震改修工事が終了したことで29年度は約1億9,000万円減額した予算での実施でしたが、3中学校の柔剣道場非構造部材耐震改修工事や飛散防止フィルム工事をともに国庫補助事業として実施し、安全性を向上することができました。また、学校用務員を1名増員し、学校用地が広い豊明中学校の業務に対応いたしました。

次に、92ページをお願いいたします。

最上段の4項 社会教育費、2目 公民館費の対前年比61.2%は、28年度に南部公民館の空調設備工事があったためであり、活動としては大きな変更はありませんでした。

次に、95ページをお願いいたします。

4目 文化財保護費では、増額いただいた約1億800万円の用地購入費予算を使い、大狭間湿地を購入しております。

1枚おめくりいただき、96ページを……。

（発言する者あり）

○教育部長（小串真美君） 失礼しました。1,800万円でございます。

1枚おめくりいただき、96ページをお願いいたします。

上から4分の1あたり、7目 文化会館費は、文化会館のホール客席天井等の改修工事の実施により決算額で約2億468万2,000円の増となりました。工事期間中はホールの使用を約1年間停止し、利用者に御不便をおかけしましたが、今年度からは指定管理者制度を導入し、より安全で利便性の高い運用を始めております。

次に、右側、97ページをお願いいたします。

中段やや下、8目 青少年対策費の対前年比64.9%は、28年度に実施した約2,000万円の野外教育センター撤去解体工事によるもので、その他の事業に大きな変化はございません。

続きまして、歳入歳出決算書をごらんいただきたいと思います。後ろのほうの466、467ページをお願いいたします。

行政財産一覧の173番、大狭間湿地ですが、先ほど文化財保護費で御説明申し上げたとおり、平成29年度に購入したことで地積が2,367平米の増となりました。

続いて、決算の概要について御説明いたします。概要の6ページをお願いいたします。流、充用額の状況について御説明いたします。

一般会計の表の下から2段目、図書館費は図書館の通用口扉の故障、その下、学校給食費は給食センターの動力変圧器故障、それぞれへの対応に予備費を流用したものでございます。

続きまして、8ページをお願いいたします。不用額の状況について御説明させていただきます。一番下の款の教育費をごらんください。

2段目、小学校費、学校管理費の需用費972万2,302円は、小学校の施設整備の修理等の執行残でございます。

その2行下の工事請負費（繰越分）3,635万8,160円は、平成28年度から29年度へ繰り越した屋内運動場非構造部材耐震改修等工事などの執行残でございます。

次に、その2行下、中学校費、学校管理費の需用費307万9,550円は、中学校の施設整備の修理等の執行残でございます。

次の行の工事請負費（繰越分）1,511万4,600円は、平成28年度から29年度へ繰り越した3中学校の柔剣道場非構造部材耐震改修等工事などの執行残です。

その下、文化会館費の需用費389万2,163円は光熱費の執行残です。

その下、工事請負費の878万8,249円とその下、体育施設費の工事請負費1,332万600円はともに入札残でございます。

最下段、学校給食費の需用費618万8,289円は、光熱水費や賄材料費などの執行残でござ

います。

それから、昨日御質問いただいた歳入について御回答いたします。

監査意見書の22ページをお願いいたします。

表の真ん中あたりの教育使用料の予算現額902万8,000円と収入済額2,059万4,282円の乖離でございますが、平成29年度は先ほど御説明申し上げました文化会館のホール客席天井等の改修工事のため、予算額は例年の半額程度の計上としておりました。歳入としましては、ホールの予約等は1年前から予約が可能ということで、平成30年度の利用料が入ってまいります。収入済額2,059万4,282円はこれらの積み上げでございます。6月議会で施設使用料負担金としてお認めいただきました指定管理者に支払う平成30年度分の利用料約1,064万5,000円がこの収入済額から差し引かれる勘定となります。

次に、決算書にお戻りいただきまして、59ページをお願いいたします。

5項 雑入の5節 学校給食費徴収金の右側、備考欄の滞納繰越分から発生した御質問だと思っておりますが、給食費の滞納について申し上げます。平成30年3月末現在で滞納者数は122人、最大滞納額は11万4,300円でございます。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。10款 教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の85ページ、3目をお願いします。

先ほどの説明だと、前年から6,600万円ぐらい増加しているのは南部の教育支援センターを設置したことによるものが大きいという理解でよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） おおむねそのとおりでございます。2番目としましては養護教員の補助業務と、3番目として派遣職員の負担金なども影響しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井議員。

○蟹井智行委員 同じページをお願いします。

3目 教育振興費、教育振興補助事業で私立幼稚園就園奨励費補助が8,296万9,700円となっています。前年より316万7,300円ふえていると思います。その下に対象幼稚園が前年

の11園から12園と1園ふえているのに対象者は629人で前年より3人減っていると思います。この理由を説明していただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） まず、3人減のことをございますけれども、これは申請制度でございますので、対前年3人減という形でございます。市内の園児数が減ったというのにも影響しているというようなことになっております。

それから、園数が11園から12園にふえているのにということをございますけれども、これもほとんどが市内の幼稚園ということで、5園につきましてはほとんどがこちらのほうになります。あと、残る部分については市外の幼稚園に就園するという部分がございますので、それにつきましては、保護者の方、少数でございますけれども、そこが選択されている関係で増となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 次、86ページをお願いします。

2の一番上です。幼児授業料補助、対象者が前年の155人から8人減って147人になっています。幼稚園数も8園から6園と2園減っていると思います。この減った理由を説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 先ほどの幼稚園のほうと全く同じ理由でございまして、申請のほうの関係で8名が減となっております。

それから、園数につきましても全く同じでございまして、選択の中で市内が5園、これがほとんどでございますけれども、市外が7園ということになっておりますので、1名増というような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 配付いただきましたまちづくり指標の4の客観的な指標のやつで学校のいじめの件数というのが30年4月で90人ということで、29年の4月と比べると倍増ぐらいしているんですが、これはどういったことだったんでしょうか。また、そのいじめに対

してどういった対応をとられたか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

（発言する者あり）

○山盛さちえ委員 86ページです。教育相談事業です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 坂井室長。

○学校支援室長（坂井朋弘君） 手元に詳細な資料がございませんが、自分が学校におったときの感覚で御説明さしあげます。

1つは、いじめについて見つけようといいますか、学校がより見つけようと、そういう姿勢があらわれたのが1つであり、いじめゼロが必ずしも正しいことではないと。よく見るということが浸透したということが関係しているというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 答弁漏れで、それに対する対応は十分できていたんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

坂井室長。

○学校支援室長（坂井朋弘君） 100%と言われますと、なかなかこれは人と人とのかわりで難しい部分がございますが、各学校でいじめ防止基本方針、これを年度に見直し、保護者、地域にも周知し、広い目で少なくしていく努力をしているところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の87ページ、一番上段をお願いします。

1目 学校管理費ですけれども、予算が7億8,926万1,000円で決算額が4億4,886万1,810円と、3億4,039万9,190円も執行されませんでした。その理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 年度によって大きく変動がございます。これは主に工事に係る経費が異なるためでございます。この部分については平成28年から29年度に繰り越した工事費の不用額、それから、30年度へ繰り越す工事費、それから、需用費や役務費の不用額が大きなところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 蟹井委員。

○蟹井智行委員 その工事の内容が大きく変わったということですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） そのとおりです。毎年、工事については同じものを行っておりませんので、それによって変わっていきます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の187ページ、フレンドひまわりのトイレの改修工事について確認させてください。これは1階の市民コーナーに入札の結果が入っていないで、入れてくださいということで私がお願いして確認したんですが、これは契約が210万6,000円、予定価格も同じ210万6,000円で、落札率でいうと100%で間違いないでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） そのとおりです。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 これは何者から見積もりをとって一番安いところを予定価格にしたということなんでしょうか。以前も100%のもので決算で指摘させていただいたんですが、どういう状況だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 3者見積もりからでございます。3者の見積もりをとりまして、その最低価格を設計金額とさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 ちなみに、その最低見積価格を出したのがこの契約を入札された神谷建設だったという理解でよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） そのとおりです。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 こういうケースは、一般的にですが、事前に見積もりを出すときに、業者間で3者が相談をしてこの見積もりを出しましょうというふうにして、契約のときに……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員に申し上げます。それはちょっと……。

（発言する者あり）

○山盛さちえ委員 まだそこまでしか言ってないですよ。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 質問を変えてください。

○山盛さちえ委員 一般的にそういうふうに指摘されることが多いのですが、この100%について全く問題なかったというような認識なんでしょうか。不自然だというふうに感じませんでしたか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） そのようなことは思っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じく、ページをはねていただいて、188ページの沓掛中学校と栄中学校と豊中の柔剣道場の非構造部材の耐震改修について聞かせてください。

沓中と栄中は、沓中が8月22日に入札が不調、それで随8になっています。栄中が9月21日に入札が不調で、これも随8になっております。豊中のほうは、これは繰り越しでしたもんね。これは落札率でいうと94.3%が契約変更で97.7となりました。2つは入札不調になっているんですが、何か学校の関係のものはどちらかというとな調になるものが多いです。授業が影響しているのか、夏休みとか、冬休み、春休みの期間中なのか、とはいっても、豊中は応札があったわけですので、その違いを説明していただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 業者のほうを考えておることですので、私どものほうがこれだというような回答ができないと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 不調にならないような取り組みというのも、当然、学校の運営にも影響するし、授業にも影響すると思いますので、何か対策が必要なのかな。多いですので、ここ最近。そういうものは対策をとっていないのか、従前の方法でやっているのかということと、あと、変更が多いですね。市民コーナーで見ると変更が7件とか8件とか入ったような感じがしますが、工事していく間の中で変更が多々出てきたということなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 確認ですけれども、変更理由ということでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○学校教育課長（樋口 進君） まず、沓掛中学校のほうですけれども、これにつきましては、天井を撤去いたしましたら屋根材の下地材が一部落下する可能性があることがわかりましたので、落下防止工事を追加したということと、軒沿いに水切りを追加したことによる増額でございます。

それから、もう一つ、栄中学校のほうの柔剣道場の非構造部材耐震改修工事のほうでございますけれども、こちらにつきましても天井のほうを撤去いたしましたら屋根材の下地材が一部落下する可能性があることがわかりました。落下防止工事を追加したことと、及び天井裏に配線されていた電源、コンセント、自動火災報知機の配線を敷設がえしたために増額となったものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 不落への対策について。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 不落への対策というよりも、これにつきましては設計のほうを委託に出しておりますので、その金額が正しいという部分からのものでございますので、今のところ不落対策という部分については考えておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 先ほどの不落防止のお話で時期のお話がございました。やはり

学校というのは長期間の工事の期間を要するものというのはどうしても夏に集中してしま
いますので、そうしたこともやむを得ない事情としてあるのかなというふうには考えてお
りますが、それをばらして土日に積んでいくというようなこともなかなか難しいなとい
うようなことを思っております。先ほど課長が申し上げたように、きちっと委託業者に出
した設計金額で私どもは入札をやっておりますので、それ以上の話になると本当に業者さ
んの正当な競争でということにお任せするしか今のところないというふうには考えており
ます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 例えば187ページの下のところの大宮小学校のパソコン教室を普通教室
に変える。これも一度11月14日に不調になっていて、間に合うのかなとすごい心配して、
これは間に合ったんですが、時期によってはそういう可能性も出てくるといって、そうい
うところも入札をかける時期というのもなるべく夏休みに近いとか、春休みに近いとか、
何かそういうことは29年度に考えないといつまでたっても同じことになりますが、何か検
討はされたのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） やはり夏休みの時期に重なってしまうというのは考慮は
しておりますけれども、この時期でないと実施できないという部分もございまして、そ
の辺は御容赦いただきたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 中学校費の豊中も……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ページ数を。

○富永秀一委員 同じところですが。188ですけど、豊中についても工事変更、落札額からま
た変更で82万ぐらい上がっていますが、これについての変更理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 豊明中学校のほうにつきましては、これも天井の撤去を
した段階で屋根材の下地が一部落下するおそれがあるということがわかりました。落下防

止工事を追加したこととあわせまして、天井裏に配線されておりました電線、コンセント、自動火災報知機の配線を敷設がえしたための増額でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の88ページをお願いします。

上から2つ目のアスタリスクの小学校扶助事業、その下に就学援助と特別支援教育就学奨励費に分けて書いてあります。そのうちの右側の特別支援教育就学奨励費122万9,928円、これは前年より23万554円ふえています。その下に小学校分内訳という表がありますが、昨年度の実績報告書にこの表がないので比較ができなくてわからないんですけど、さらにその下を見ると特別支援教育就学奨励費対象者が40人になっていて、これが前年より4人ふえていますので、この4人がふえたことによる増でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 今回、特別支援の就学奨励費を分離して表示させていただいておりますのでわかりづらいと思いますけれども、その中の新入学用品の部分が10名ほどふえております。そちらのほうが大きな影響でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 同じところで下の表を見ますと、就学援助の小学校別対象者数があります。栄小学校で準要保護者数が18人ふえています。双峰小学校で準要保護者数が13人ふえています。その他の学校はそんなにはふえていないと思いますが、なぜこの2つの学校でこんなに準要保護の数がふえているのでしょうか、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 基本的には新規と年度途中の転入が多かったためということでございますけれども、背景といたしまして、栄、双峰ともに転入、転出が多いというような地区ということと、栄のほうにつきましては豊明栄団地の外国籍の方が増加したというようなことが要因となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の215ページ、青少年対策費の中の放課後子ども教室について伺います。

このところに放課後子ども教室運営等業務ということで420万円ほどあって、下のほうに委託料とあって放課後子ども教室運営業務委託料で1,950万円ほどと掲載されています。1,950万円余については実績報告書のほうの委託のほうにも同額がついているので、これが双峰と唐竹と杳掛の放課後子ども教室だというふうに理解しています。とすると、3子ども教室で1,900万円、残ったところの栄と豊明と中央の3子ども教室が420万円余ということになるんですが、それで漏れはないでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） そのとおりでございますが、委託料のほうには消耗品費とか何かも入っております。さっき委員さんが言われましたように、こちらのほうは報酬のみですので、その辺は含まれていないですけど、言われたとおりの大部分のお金はそういうふうにできております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、委託ではないほうの消耗品とか、そういったものはこの青少年対策事業の中にはどこにあらわれてくるのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 需用費の消耗品の中に含まれております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 その消耗品費と今の470万円を足したとしても600万円ぐらいでおさまってしまって、委託のほうは1,900万円ということで非常に差があるんですけども、職員体制だとか、そういったことについてどのような差があったのか、なぜこういうことがあらわれているのか、説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） やはり直営でやるものと委託に出すものは、当然、会社が入っておりますので、会社も経費を取られますし、私どものほうについては非常勤一般

職の職員でやっております。向こうは正職も採用しておりますので、その辺、経費が向こうのほうがかかっていると考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 市のほうの放課後子ども教室には、いわゆる民間でいう正社員みたいな方はいらっしゃらなくて全部非常勤ということですか。提供する放課後子ども教室の事業内容に差はないでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 私どもは同じように提供しておると考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 とすると、民間に委託をしたほうが物すごく割高ということになるんですが、そうすると、直営でやったほうがサービスの内容も同じでコストがかかっていないということになりますが、説明を求めます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） そういう経費面だけを見るとそうなのですが、当然、直営のほうにつきましては私どもの職員が職員を管理することになりますので、私どもの職員の経費がこれ以上に乗ってくるということになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 済みません、よくわかりません。職員の管理というのは、非常勤を雇ったり、給与計算したりとか、そういう意味ですか。それを足したにしても1,900万円にはほど遠いんですが、もう一度お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） その辺、経費だけを見ると確かに民間のほう割高にはなっておるんですが、当然、長期的とか、大きなものを見ると、向こうのほう雇用も全国的にやっておったり、サービスに切れ目がなくなるということで、雇用も会社が責任を持ってやっていただけるということで安定して供給できるということを考えて出しておる

ものでございます。

ちょっとつけ加えますが、今、委託に出しているものにつきましては一体化でやっている面もありますので、そうした面で相互効果を得ておるといふふうに思っております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の89ページをお願いします。

3項 中学校費、一番上の1目 学校管理費です。予算現額が2億3,480万2,776円となっています。前年度決算額が3億369万5,898円で、6,889万円も少なくなっています。その理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 先ほど小学校費のほうでも似たような回答をさせていただいておりますけれども、1つは28年から29年度へ繰り越した工事費の不用額の関係、それから、30年度に繰り越す工事費、需用費の不用額が大きなところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 同じページの今度は下の2目 教育振興費をお願いします。

3の備品購入費が397万2,736円、これは前年より232万も減らされています。ここが減らされていなければ、私が一般質問でもしたように、デジタル教科書も買えるわけですが、こんなに減額された理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 備品購入費の積算のほうですけれども、クラス数の減だとか、生徒数の減が見込まれておりましてこの予算となっております。なお、平成29年の時点ではデジタル教科書の購入についての方針が立っておりませんでしたので、こちらのほうには算出ができないという形になります。特別な事情があれば別枠として予算要求をしてみたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 次の90ページをお願いします。

1つ目の中学校教育振興補助事業、中学校の扶助事業の中学校別対象者数を見ると、豊明中学校で準要保護者が19人減っています、前年度より。逆に、沓掛中学校で準要保護者数が15人ふえています。計では要保護者数が2人ふえ、準要保護者数が5人減っていて、全体としては減っているように見えますが、就学援助費は2,708万777円、前年より38万ふえています。その理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 減っておるのにふえているというようなことでございますけれども、これは新入学用品の支給単価によるものでございます。中学校費につきましては、前年が2万3,550円という単価のものが4万7,400円という形になっておりますので、その部分が大幅に変更になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書のページ数は191ページです。

定住外国人のプレクラス、プレスクールが28年度に比べると金額が大幅に伸びていますが、何か制度が変わって頻度が変わったりしたんですか。ちょっと思い出せないのをお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

○学校教育課長（樋口 進君） 後でお答えします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 報告書の86ページの教育相談事業の教育支援センター在籍者数について聞かせてください。ここには16人で、北部13人、南部3人と書いてあります。この13人と3人の中で29年度に普通に学校へ通えるようになった方がいるのかどうか。また、16人の在籍者以外でまだフレンドひまわりにも行けないと、自宅ですっと過ごしているという方が何人いるのかどうかも、29年度の状況を教えていただけるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 16人にふえたということで、通えるようになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 もう一回質問しますね。16人で在籍者というか、北部が13人で南部が3人となっていますよね。その中で普通に学校に29年度に戻れるようになった児童さんや生徒さんがいたのかどうかということと、また、フレンドひまわりにも通うことができずに自宅で引きこもっちゃっているような状況だった方がいるのかどうかというところ、29年度の総括を聞きたくて聞きましたのでお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 申しわけございません、データのほうがございません。ただ、そういった努力はずっと続けておりますので、少しずつでも戻れるようなことを進めております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 当然、各学校では不登校になって指導はされていると思うんですが、不登校になってしまったと、学校に出てこれないというのは、ちゃんとその人数を把握して定期的に御家庭に連絡したりとか、そういうことはされているんですよね。把握していないと言われるとちょっとどうなのというふうになっちゃうんですが、その辺、聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 今、早川委員がおっしゃったように、把握はしておりますし、家庭にも連絡はしております。ただ、連絡してもなかなか連絡がとれないだとかという家庭も残念ながら多いです。先ほどおっしゃっていたフレンドひまわりに通っていて小中学校に戻れるようになったという子だとか、家庭にいた人がフレンドひまわりに来るようになったというような実数は課長が申し上げたようにちょっと数字がないんですが、言えるのは、南部で開設をしたことによって、今まで北部のほうにいなかった栄小学校の子どもだとか、栄中の新たな子どもが通えるようになりましたので、そういう意味では2カ所にして、しかも南部のほうに設置させていただいたことでそういった効果は上がったものだというふうに、そういった総括をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 逆に、施設ができたことのプラスもあるんですが、先ほども教育長の答

弁にもありましたが、連絡しても全く連絡がつかないという方のほうが問題だと思うんですが、29年度、その対策はしていたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） そういった問題意識は持っております。ただ、現在、フレンドひまわりに配置している職員の関係だとかでいくと、なかなか家庭訪問まで結びつくということが難しいということで、今後、そういったことで家庭訪問をして、できるだけ子どもさんが学校に通えないのであればフレンドひまわりのほうに来てくださいというようなことも申し入れて自立してやっていきたいとは思っておりますが、現行の体制でいくとなかなか難しいなということが最近、教育支援員の方だとかとも話す機会があって話をしているとそういったようなことがございました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 支援員さんの人数的なものの問題なのか、そこら辺はどのようなものなんですか。例えば人が、スクールソーシャルワーカーさんもそうなんですが、人員的に豊明市は少ないもんだからそこまでの手が行きづらいというのが現状なのか、その辺はどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 全体的な話になっちゃうんですけど、スクールソーシャルワーカーも今2名配置をしておりますが、2人で週に4日程度の出勤になっております。そういったことで、必要なときに必要な支援が与えられるかというところ、なかなか足りないところも見受けられるのは事実だと思います。そういったこともあり、フレンドひまわりでいきますと、正職員というか、絶えず常駐しているのが2人ずつということになりますので、1人抜けてしまうと電話対応だとか、トイレだとか、いろんなことで不自由になるということで、なかなか外に積極的に出ていくといった相談というのができづらい形になっている。電話だとか何かで教育相談とかは受けれるんですけども、こちらのほうから能動的にやっていくというのがちょっと足りないかなというふうな、そういう分析はしておりますので、先ほど申し上げたように、今後そういったことに対応できるような予算要求もしていきたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 教育支援センターの件ですけれども、北部が13人で南部が3人ということで、南部はできたばかりということもあるかもしれませんが、地理的に見ると北部というのは本当に北の果て、南部は市のちょうど真ん中ということで交通の便もいいわけですけれども、その南部が少ない、北部に集中しちゃっているというところはどのように見てみえるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 具体的なこれだという理由は私も承知しておりませんが、積極的に校長会においても南部の相談員の方が見えてPRをしているというところなんです。なので、積極的に学校のほうも教育支援センターを利用しようと、そういった気持ちに今なっているのかなど。特に栄は新しいのでまだそういった周知がされていないのかなと思いますが、ちょっとその辺の分析がまだ足りていないと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 南部の教育支援センターをつくるときに、あそこは非常に人通りの多い目のつくところだし、いいのかなということは私としてはかなり不安に思っておったわけなんですけれども、そういった余り不登校であることを人に知られたくない、人目のつくところには行きたくないとかといったような、そういうような理由というのはないでしょうか。入り口は確かに裏側にはしましたけれども。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 入り口の話もありましたが、相談自体、現在3人登録しているんですけど、相談はその倍ぐらいはございます。ただ、相談している中で、体が虚弱でフレンドひまわりであっても通えないだとか、フレンドひまわり自体も養護教諭だとかがいるわけではありませんし、何かあったときに横になれるようなベッドも残念ながら現在はありません。そういったところで施設的に見送っていらっしゃるという方もいるというふうに私は聞いております。相談件数についてはもう少し多い、6件、7件というところがありますが、実際に登録に結びついたのが3人ということになっています。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 先ほどのプレクラス、プレスクールの回答でございますけれども、増の理由ですけれども、双峰小学校の児童への日本語教室の指導を増設しております。これが午後のクラスを244日分ふやしたという関係がありまして、その関係で人件費が増となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の94ページをお願いします。

図書館の利用状況が細かく書かれています。一番上に開館日数が書かれています。28年度と29年度は全く同じでした。2段目に入館者数が書かれています。ここがちょっと問題なんですけど、入館者数が本館で19万7,467人と前年に比べて7,516人減っています。栄分室で1万3,312人、これが1,059人減っています。南部公民館が1万2,615人で982人減っています。合計で前年より9,557人も減っています。この数字をどう分析されているか、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 要因としまして、働く親世代とそのお子様方の図書館利用の減少や、また、高校生の年代がインターネット、スマートフォンなどの普及により情報検索の方法が多様化をしております。学習形態が変化しているということが大きな要因と認識しております。一時的に利用が減少していることなどは考えられます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 蟹井委員。

○蟹井智行委員 今と同じところですけど、今、数字を言ったように、入館者数が合計で9,557人減っていますが、その下の貸出人数を見ると合計で1,855人の減となっていて、そんなにでもないんですね。9,557人、人間は減っているのに貸し出しの人数は1,855人、これを冊数で見ると合計で4,345冊の減となっています。ですが、本館の児童の貸出人数は476人とふえているんです。貸出冊数で見ると合計で4,345冊減っていますが、一般書の合計が5,140冊減っていて、児童書の貸し出しは本館で2,096冊もふえているんです。栄分室でも60冊ふえています。合計で児童書の貸し出しは1,712冊ふえています。この数字をどう評価されますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 貸出冊数の減の主な理由としては、平成28年度に期間限定行事でチャレンジブック50というものを行いました。平成29年度は期間限定行事を行わなかったというのも1つの原因かもしれませんが、あと、児童書が増となったというのは、保護者が来館し、お子様のために児童書を借りていかれることが要因であると考えます。評価としては、利用人数が減ることは好ましくないと思いますが、児童書の貸し出しがふえたことについては子どもの読書推進に役立てたと評価いたします。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の187ページの一番下の先ほど早川委員も指摘されておりました小学校のパソコン教室の改修工事ですけど、これは合計で3回入札が行われているわけですけど、1回目が11月14日に行われて、3回入札をやったけれども不落ということで、2回目に12月8日か6日に行われて、ただ、これはどういう形で行われたか、何の情報もこれについては載っていないくて、条件を変えたのか、対象は多分、公募型指名競争入札のままなので対象は一緒なんだとすると、そのまま不落になっているので、どういう形でおやりになったのか。3回目は公募型指名競争ではなくて、指名競争入札にして対象をふやしているわけですけども、最終的には1回目の900万円よりも高い金額で落札されているわけですけど、どういう条件の変更などがあったのか、経緯を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 後でお答えいたします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 実績報告書の152ページをお願いします。

3目 教育振興費の表があります。下から4段目、小中学校英語指導委託料、小中学校英語指導委託、ここが1,425万6,000円になっています。アジアプラントサービス、AP Sといいますが、ネイティブの先生に英語の指導を受けているわけです。8月に行われたイングリッシュキャンプinとよねもAP Sの先生たちが一生懸命頑張ってやってくれました。この1,425万6,000円が前年より18万9,000円減額されています。その理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 基本的には1名当たりの年間単価が減になったということでございます。内容については、議員言われましたように、変更はされておられませんので、単純に人件費の減という形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 193ページが一番下のバス等借上料ですが、275万円余がほかへ流用されていますが、流用先がちょっと見つけられなかったもので、これだけ減額した理由と流用先を説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） お調べして、すぐ回答いたします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の154ページの真ん中あたりにあります校舎等警備業務委託（長期継続契約）99万余の説明書きにあります小学校全校の夜間等機械警備業務（南部教育支援センターを変更契約にて追加）と書いてあります。1枚戻って153ページの上から5段目の校舎等警備業務委託、同じ長期継続契約でも南部教育支援センターの夜間等警備業務委託というふうで追加もして153ページでも南部教育センターが上がっているんですが、これはダブっているんですかね。どういうふうに見たらいいんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） こちらについてもお調べして回答します。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の152ページの上から2つ目のプール開放委託料の18万5,760円でコパンに随2で契約している件ですが、これは2日間でこのプールの利用は何人だったのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） コパンのほうですね。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 時間がかかるようでしたら、ほかにございませんか。
樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） コパンのほうへの委託ですけれども、2日間で143人の参加者がみえます。初日が77人、2日目が66人でした。
以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかの答弁はまだ後からということで。
郷右近委員。

○郷右近 修委員 資料は決算の概要の8ページの不用額のところで一番下のところで、どなたか聞いていたら、重なっていたら済みません、体育施設費の工事請負費の1,300万円の内訳がどういったものか、教えていただければと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。
高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 主に中央監視装置の更新工事でございます。実績報告書を見ていただきたいと思うんですけど、190ページでございますが、下段の豊明中学校グラウンド夜間照明設備改修工事とその下の福祉体育館中央監視装置更新工事、勅使のテニスコートの補修工事が対象でございます。
以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。
早川委員。

○早川直彦委員 決算の概要の31ページ、学校プール開放事業の推移のところをお願いします。

29年度は沓掛小学校がなくなって2,732人、1日当たり68.3人で513万の開放委託料というふうに書かれているんですが、これを1人当たりで換算すると1,878円となります。28年度は3つ合わせて書いてありますが、栄小と中央小の2つを足すと3,421です。それから2,732を引くと689人減っている形となります。その前の28年度のコストでいうと1人当たりは1,079円、その前の27年が1,366円となっておりますが、まず、29年度の689人減った理由、天候なのか、冷夏だったような覚えもあるんですが、雨が多かったとか、何かその理由についてまず答えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。
樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 詳細については調べておりませんので、回答のほうは控えさせていただきたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 プール事業がいいのかどうか、コパンも含めてなんですが、答えられませんかと言われちゃうとどう評価したらいいかわかりませんというふうになっちゃいますので、答えられる範囲で答えてください。コストも高くなって上がっていますので。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 小串部長。

○教育部長（小串真美君） 今、課長が答弁申し上げたとおり、詳細はお調べできていないんですけど、ことしの猛暑に比べて去年は非常に冷夏で天候もよくなかったもので、そういったことの影響かなというふうには思っております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ここで、会議の途中ですが、10分間の休憩といたします。

午後 5 時 7 分休憩

午後 5 時 1 7 分再開

○決算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

坂井室長。

○学校支援室長（坂井朋弘君） ふなれで、タイミングを逸して手を挙げ損ないました。御容赦ください。先ほどの後藤委員のフレンドひまわり勅使及び栄について若干補足をさせていただきます。

教育長の言ったとおり相談活動もしておりますが、成果を少し紹介します。

南部教育支援センターのフレンドひまわり栄につきまして、29年度にフリースクールに通っていた小学生児童がフレンドひまわり栄ができて、そちらにほぼ欠席なく通っているという効果があります。今は中学校に向けての意欲を高めているところです。このまますんなりいくかはわかりませんが、成果だと思えます。

また、フレンドひまわり勅使、昔からある勅使池のほう、北部教育支援センターにつきましては、スクールソーシャルワーカーとの連携でそこに通う中学生の子がさきの夏の運動の大会、柔道で愛日大会で入賞するなど、前向きになれた子もおりますので、素晴らしい成果だと思えます。100%すんなりこのまま学校復帰とか、いくかどうかわかりませんが、このような施設が効果があるのではないかとということで紹介させていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 宿題をいただきました3点について順次御説明をいたします。

まず1点目、バスの流用先でございますけれども、決算書の191ページをごらんいただきたいと思えます。中ほどあたりに教育振興補助事業がございます、そこの私立幼稚園就園奨励費補助金、それから、その下のほうに行きますと部活動運営費補助金、さらにその2つ下の私立高等学校等就学助成金、この3つに流用を分けさせていただいております。それが1つ目でございます。

それから、2つ目でございます。南部教育支援センターの長期継続契約が2本重なっているのではないかなというふうな話でございますけれども、ページ数が153ページと154ページの件でございます。まず、153ページのほうの機械器具等保守点検委託料の3万7,260円につきましては、その後の154ページの校舎等及び業務委託のほうの金額にプラスしたものでございます。予算的には支出先が違ふということで2本に分かれておりますけれども、契約については1本でございます。154ページの部分の99万1,440円に加算したもので契約のほうはさせていただいております。ちなみに、これにつきましては長期継続契約のほうの最終日を31年8月31日に合わせたものでございます。これが2点目でございます。

それから、3点目、パソコン教室の改修工事の件でございます。委員おっしゃられるように、1回、2回、3回という形でなっております、1回目につきましては不調、2回目については参加者が不足したということで、公募をかけたんですけれども、参加者不足のために中止をしております、第3回目、指名に切りかえております。これにつきましては金額のほうが上がっておりますのは、設計内容の見直しをしております、その内容につきましては、木工事、建具の工事のほうの見直しをさせていただきまして金額の増とさせていただきます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどのバスの借上料の件なんです、流用先はわかりましたが、もともと700万ぐらいの予算だったんでしょうか。270万円も不用になった理由についての説明がまだなので、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 執行残でございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 それはわかっています。お金が要らないからほかに流用したのはわかっていますが、当初これだけ700万ぐらいバス借上料が必要だということで予算化されたと思うので、何か特別な事情が発生したのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 野外活動のほうにつきましては、学校サイドのほうでその年度によって多少変わってくるということがございますので、その関係で減額になったのではないかというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 臆測も入っているように聞こえましたが、バスの台数が変わったのか、それとも契約単価が変わったのか、いずれでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 申しわけございません、私どものほうでは内容についてまでは把握しておりません。

（わかりました。もういいですの声あり）

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の99ページの8の家庭教育学級の開催の幼児と小学校、中学校とあるんですが、こちらも回数でいうと全てマイナス、学級数のほうは幼稚園のほうはふえているんですけど、小学校のほうはふえているのが中央小の2名、大宮小の3名で、プラス・マイナス・ゼロが館、あとはマイナスとなっております。これは去年も言ったんですが、PTAの活動の中で重複している活動とか、私がP長のときは合同でやった覚えもあります。これだけ数が少なくなるともう十分効果を果たしているとも思えるし、やり方を変えてPTAの活動の中で家庭教育の学級というふうに変えるべきじゃないでしょうか。これだけ人数が少ないと、効果というのが逆にあらわれないのか、逆にやりにくいのもあると思うんですが、各学校とかの意見も聞かれているのでしょうか。継続することはいいことなんですが、余りにも事業実績が少なければ、やり方自体を変えるということは29年度は検討されたのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 毎年これは早川委員とお話ししているんですが、当然、閉じこもりというか、家のほうに入ってしまう親御さんをなるべく外に出していただいて勉強していただいたりとか、社会とのつながりを持っていくという大事な意図でやっているんですけど、委員が言われたとおり、減ったり、ふえたところもありますけど、今、減っている数につきましては生徒数が減っておるということもありますし、当然そうすると親御さんも減ってくるということがありますし、また、幼稚園のように周りの親が入ったので誘われてということもあるものですから、そういった関係で上下が出てくるかと思えます。

毎年何か変わったことをやっているのかとかということは聞かれますが、当然、アンケートをとって一番出ただけのようにとお願いしておるんですけど、その中で当然、土日開催も考えておりますが、これもなかなか問題があって、土日にやられるとお子様方が習い事や何かに行かれるとか、あと、団らんをしたいということでなかなか難しい、平日になると、今、親の社会的な形態も多少変わってきておりますので、家にこもられる方が少ないということもありますので、なかなかどういったいい手だてがあるかということは難しいんですけど、大事な事業なので改善できるところは改善しながら進めていきたい。

回数は大体1回ずつ減っておると思いますが、これは文化会館が改修工事をやっておりまして、その関係で合同講習会というのがなくなりましたので、それが1回減っておるという形で全体的に減っておるということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 余りこういうことを言いたくはないんですけど、PTAの役員や委員を決めるじゃないですか。そのときにこちらの人数も引っ張られて、どうしても人数が少ないからそっちにも入ってよとってお願いして入っている方がいるのも過去からなんですが、そういう話も聞いているし、実情、例えば表を見ると、豊小、三崎小、大宮小学校を比較して申しわけないですけど、児童数が多いところでもこれだけ少なくなっちゃうと次は横棒が入っちゃうんじゃないかなと、やっていけないかなと。確かに双峰や唐竹の人数が少ないところは理解できるんですけど、ある程度の児童数があるところさえ人数が少ないというのは、これは真摯に考えなきゃいけないんじゃないかなというふうに、いいことですよ、私も体験させていただいたし、子育ての時代のときにいい勉強をさせていただいたからそれは感謝しているんですけど、でも、人数から見るとこれは改善しなきゃ結局は横線が、やれませんが、やれませんがとなりかねないと思いますが、この数字が本当にいいのか

というのは29年度に評価したんでしょうか。ただそのままの事業を……。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員に申し上げます。自己の意見が多過ぎて、簡潔に質問をお願いします。

○早川直彦委員 簡潔に言いますが、ちゃんとこの人数を分析して改善をしようという努力をされたんでしょうか、29年に。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 先ほど説明しましたように、アンケートをとるなりやって、皆さんに諮って合同がいいかなということもあったんですけど、同じ学校の先輩がおるから入りやすいという方もおるものですから、そういった形で今回はこういう形をつけただけであって、改善する努力はしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の11ページ、LED照明機器借上げについて伺います。

資料7、ありがとうございます。ここの中で、資料でこれを出してくださいねと言っただけけれども、なかったのが電気代についてで、これは計算ができないものですから電話で聞いちゃったんですが、私だけ知っていてもいかんと思いますので、一応、電気代について単価が幾らというのも言っていたきたいのと、あと、私が試算をしたときには20ワットが566本あると聞いて試算していたんですが、実際に今回LED化されているのが185本なんですけれども、この違いについても伺いたいと思います。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 単価のほうは、済みません、ちょっと表に載せ忘れましてので報告いたします。

まず、平成29年3月の段階で平日が11円73銭、平日の夏季のほうは12円90銭、休日が8円89銭、それから、平成30年3月が平日が12円89銭、平日の夏季が14円06銭、休日が10円05銭、それから、20ワットのほうは566本という委員の本数だったんですが、実際のほうがやりましたら20ワットのほうは185本という形でした。まだほかにもワット数じゃないんですが、照明機器でダウンライトとか、非常用照明のほうもございます。これがこの本数には含まれておりませんので、多分、最初に566本という情報が間違っただけで、計算間違いしていたのかなとも思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 この前、図書館へ行って見せてもらったときに、F P Lかなと思う、こういう形の照明じゃないかと思うのがあったんですけど、もしかしたらそれを20ワットと数えていて566と言われたのかなと思ったんですが、F P Lのほうは今回L E D化はしていない、蛍光灯のままですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 今回、全館のものを全部L E Dに変えていますので、ひょっとしたら委員の言われるようにF P Lですか、それを間違っただけの数えていたのかもしれないのですが、私のほうもその数字を持っていなかったの、済みません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 わかりました。もしかするとF P LもL E D化をしているのかもしれない、そこがちょっと曖昧なので詳細はわからないところがありますが、とりあえずいただいた情報で計算をしてみると、30年3月の単価で2円ぐらい高くなっていますよね。もし変えなかった場合というのはその単価で蛍光灯の料金ということになるんですけど、それで計算すると年間大体165万ぐらいかかるという計算になって、それが今回L E D化したことによって計算すると48万円ぐらいに下がるということで、大体117万円ぐらい年間で下がるということになるんですけど、この物品の借り入れのところを見ると期間全体で757万幾らで、これを1年ごとで割ると151万ぐらいになるということで、毎年少しずつ持ち出しになる、5年間は。リースの間の5年間は持ち出しになる。私が試算したときにはもう導入した当初から恐らく下回るだろうという試算をしていたんですけど、それが何で違ってくるかなという、口金の形状がG 13ということはL E D専用のものに器具ごと変えたと思うんですけど、それが影響が大きいのかなと思うんですが、器具はそのままで玉だけ変えるということも選択肢としてはあったと思うんですが、そうではなくて、器具ごと変えたというのは理由としては何かありますか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 済みません、ちょっと調べさせてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 学校のプール開放についてもう一度お願いします。

コパンで2日間利用されて143人の利用があったということなんですが、これは担当の方はプールを見学に行かれましたか。どういった方が利用されていたのか。一応、これはそもそも市民プールというような目的でプール開放をしておりましたが、そういった目的にかなったような実態があったかどうか、まず教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 現場のほうには担当の者が見に行ったという報告は受けております。参加者のほうにつきましては豊明団地の児童・生徒が多かったというような報告は受けております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 1日、多いほうで77名ということですが、プールの面積というか、大きさからいくとこの人数というのはもう限界なのか、十分もっと利用できるような、そういう状況だったのか、どちらでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） そこまでは報告のほうでは聞いておりませんが、まだ工夫をすればもう少し受け入れは可能だというふうには考えております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 参加者は子どもさんが多かったということだったんですが、2日間コパンで初めて開放しましたが、これは評価というか、それはどんなふうにされたんでしょうか。今後のことも含めてお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） コパンのほうで受け入れてもらった2日間のほうについては、コパンスイミングのほうの休業日にあけていただいておりますので、展開としてはこれ以上広げるのはちょっと難しいかなとは思っておりますけれども、これについてはまた協議、検討していきたいなというふうには思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の161ページ、それから、お願いした資料はナンバー4、実績

報告書のほうに載っておりましたのは体育館の指定管理の関係ですが、この表が非常に細かいんですけども、表の一番右上に書いてあるのが指定管理の委託費ですね。6,862万4,380円ということで、私に関心を持っているのは人件費のことなんですが、人件費は最初の黒塗りがしてある右下のところがちょっと欠けております。そこに2,998万円の人件費が上がっております。これに関してお聞きしたいんですけども、これを委託に出すに当たってこちらのほうで積算した人員配置と実際の人員配置は同じになっているかどうかということをお伺いしたいということと、その人員について入れかわりといいますか、やめたり、そういったようなことがないかどうか、その2点をまずお聞かせください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 私どもが積算したときには5名ということでやっております。今も5名、常勤職員がおると聞いております。29年度につきましては職員の入れかえは聞いておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 私がずっとこの指定管理になるときから心配しているのは、業者としては利益を出すためにできるだけ人件費を抑えて、要するに安い人件費で人を使ってその差額を収益にするというようなことが起きてくるだろうということを気にしておりました。それで、2,998万円が支払われているわけですけども、支払われていることについては確認をされていますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 企業がどういうふうに払われておるかというのを確認する、そういったことはないというのと、これが向こうから出してきている収支報告書なので、正しいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 ただの収支報告書ですので、私はその疑いがあるというふうに考えて仕事をすべきだろうというふうに考えて質問をしておるわけですけども、例えば労働基準法で賃金台帳をつくるのが義務づけられております。その賃金台帳の写しを添付させる

とか、確認の方法はあるわけですが、そういうことはやっていないわけでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） そういったことはやっておりませんし、もしそういうことが必要でしたら、そういう関係署がやるのではないか、例えば労働基準局や何かの仕事ではないかなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 市が公費を支出して業務をやってもらっているわけですので、その業務がちゃんとできるかどうかというのは、どういう人材が配置されるかということに物すごく大きく関係してくるわけですね。人件費が安くて人の質が悪ければ当然サービスも悪くなるということですので、そのことを確認するのは労働基準監督署やそういうところはもちろんですけれども、市として市が委託した業務がちゃんとできているかどうかということを確認するということが私は必要だと思うんですが、そういうことはされないわけですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 職員につきましては、有資格者ですとか、一覧表をもらっておりますし、また、割り戻していただければわかりますが、600万ぐらい年間払っておりますので、これを後藤委員が言われるように怪しいと言われたらもう何もなくなってしまいうんですけど、600万ぐらいの年収を払われておれば別に私どもは問題ないというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 小串部長。

○教育部長（小串真美君） 少し補足します。

今、後藤委員が言われたような内容につきましては、指定管理者制度の中にモニタリング制度というのがございまして、それを委員会のほうで開いて確認をしておりますので、そういった点では問題がないと、A評価だということになっております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 先ほどの富永委員の回答のほうです。資料7のほうで40ワ

ット、20ワットのほうの電球なんです、こちらは玉交換のみで、ダウンライトとか非常用照明のほうは器具交換となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 先ほど、山盛委員に対しての回答がちょっと曖昧な部分がありましたので、訂正させていただきます。

バスの関係でございます。予算につきましては延べ台数のほうで積算をしております。ただ、実際に行う場合につきまして学校間のほうの往路復路の調整ができましたので、延べ回数ではなくて、調整ができたという形で金額のほうで圧縮できたということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 指定管理の関連でお願いします。

人件費が約3,000万円で正職が5人で1人600万円だから十分だということだったんですが、全員正職さんばかりなんですか。5人でこの指定管理業務全てを回していらっしゃるとはちょっと思えないので、もう一度、人数と構成について説明してください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 私どもが指定管理に出すときに正職を5名置いてくださいというのは指定をしております。あと、これは非公開になってしまうんですけど、委託費の中に市でいいますと非常勤一般職、バイトさんの職員もおりまして、そういった形の方も中に入って仕事をされております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今言われた委託費というのは、いただいた資料の支出の中の9番という意味でしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） はい、そこの中に含まれております。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 私がお願いしたのは人件費ですので、パートの職員であろうと正職員であろうと人件費には変わりがないわけで、その部分がいただいた資料の中で明らかになっていなければならないわけなんですけれども、それが出ていないというのはどういうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 後藤委員から資料請求のあった収支報告書、これにつきましては情報開示請求がございまして、その審査会の中でということで、委託費用の開示につきましては、企業情報が含まれるということで非開示となっておりますので、今回控えさせていただきます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の34ページですけど、文化会館の利用率ですけど、これは大ホール、小ホールとも工事中だったと思うんですが、100%の利用率になっていて、大ホールが1,220人、小ホールが400人の利用になっているんですが、これはどういう計算なのかなと思いついて、お願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 4月に県の尾張地区の大会がございまして、それをやっていたいただいたもんですから3日間開いたんですね。その関係で3日間の来場者数と、3日間しか開いていませんで当然100%になりますので、そういった形で100%となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 これは朝から夜までの終日だったということですね、3日間とも。その3日間の数字だけということでもいいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 1件だけ質問させてください。

決算書195ページの小学校の管理事務事業の中の光熱水費の実績なんですけれど、実績は4,342万3,781円で、実は予算を見ますと5,226万6,000円の予算がついているんですね。実績が4,300で約1,000万弱、900万程度実績が少ないですね。実績が少ないというか、予算が多いというのか、中学校を同じように光熱水費を見れば、中学校の場合は予算のほぼ8掛け、9掛けぐらいの実績なんですけど、小学校の予算が多いのか、あるいは非常に小学校は節約、節約で光熱水費を節約されたのか、あるいは予算のときの積算にやや高目の予算があったのか、こちら辺はどういうふうに理解すればよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 予算自体は、ことしもそうですけれども、暑い年であるとか、寒い年がありますので、ちょっと多目に予算は計上させていただいております。ということでございますので、実績値も加味はしておりますけれども、そういった部分で多少多目の契約となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 小学校は多目で、中学校はぎりぎり、そういう意味合いですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

樋口課長。

○学校教育課長（樋口 進君） 基本的には小学校、中学校でそういった部分の差はございませんが、実際には小学校費のほうの決算を見ていただきますと去年よりもふえております。これにつきましては図書室の空調機を設置したことによることですか、運用による電気代だとかガス代がふえてしまったというようなことがあります。中学校のほうについても寒い時期の空調稼働の増加であるとか、豊明中学校のほうのプールの漏水調査の関係で一度水を全部抜いているようなことがございますので、その辺の影響で金額のほうが多量前後するというような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 もう一度、指定管理のことについてちょっと教えてください。

一番上の指定管理料を見ると、前年度に比較すると29年度の予算は10万円ほど多い予算なんだけれども、一番右の上のところを見ると予算よりも30万ぐらい高いということになっていますが、これは何がふえたのかというのをまず1つ、それから、もう一つ、2番のところの利用料金収入というのも前年度よりも予算は少しふえる予定で、最終的にはもつとふえているというような、そういう状況があるんですが、その点についても、これは指定管理料と利用料収入の関係が何かあるかどうか、教えてください。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 利用料金はジム等が使われた方とか、そういった関係で使用料はふえたり減ったりします。指定管理料が変わってくるというのは、公用というか、私どもが取ったものというか、市のほうが押さえたものの量によって、その部分を補填というか、その部分をお支払いしますので、そういった形でふえた形となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、指定管理をしている5年間については、基本的に指定管理料というのは変更なしという理解でよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 指定管理料は5年間にわたって総額で決めております。あとは年度によって向こうが計画していた額が変わりますので、それに応じた形で総額を払っていく形になります。今、ちょっとよくわからないかと思うんですが、その中に精算項目がございまして、先ほど御説明しましたように、公費負担は変わりますので、その部分が変わってきます。利用料につきましては、当初の計画の利用料が全体の維持管理費から引かれた形で指定管理料を占めていますので、それ以上にたくさん稼げば、それは向こうの収入になるという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 多分、私としては最後の質問だと思いますけど、一応まとめで、さっき聞いていた続きですけど、LEDの件、概要の11ページ、先ほどは失礼しました。G13というのは確かに器具そのままだということで、私、ちょっと勘違いしてしまっていて、申しわけなかったです。

その場合、5年間は持ち出しになってしまうんですけど、それで合計170万ぐらい持ち出しなんだけど、1年半ぐらいすればそれはもう元が取れるという計算になるので、6年半ぐらいでそれ以降は元が十分取れてメリットのほうが大きくなると。4万時間もつという事は、一番長いので恐らく年間2,500時間ぐらいだと思うんですけど、点灯するのが。そうすると、16年ぐらいもつということになりますので、10年ぐらいは得をします。しかも、蛍光灯も大体6,000時間から1万2,000時間なんですけど、8,000時間ぐらいで切れると計算すると蛍光灯はあと4本変えなきゃいけないという計算になるので、トータルでいうと恐らく1,350万ぐらい今回交換したことによって得をするということになるんですけども、ただ、そうすると、器具がそのままだったとすると何でこんなに高かったのかなというふうにもちょっと思ったんですね。入札を調べてみると、最終的にリースにしているので、リースの入札のものは見つけれられたんですけど、そもそも器具をこれにしたという部分はどういう意思決定でどういう過程で決まったのかというのがちょっとわからなくて、それはどういう形で決まったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） 機種選定のほうが一応5社ありました。そこで最終的に納入業者である富士通エフサスさんに決定いたしました。入札です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 一応、図書館につけるということで、私が前申し上げていたのは、図書館なので光のかけんをちゃんと確認してからつけてくださいねというふうに申し上げたんですが、それはちゃんと、つまり変な影が出ないようにちゃんと光が広がるかとか、ちらつきがないとか、そういうことはきちんと確認をされた上で導入されたかどうか、一応確認をお願いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

濱島図書館長。

○図書館長（濱島早代江君） その辺は確認済みです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 もう一度、指定管理のことで、済みません。

支出のほうの黒塗りの多いのでよくわからないんですが、例えば指定管理者が利益を得るために、たくさん利用が進んでプラスになれば、それは指定管理業者の収入になるとい

うことだったので、利益を得るためにいろいろな事業をやったり、広告宣伝にお金を使ったり、あるいは水光熱費がたくさんかかったりしても、それは市が払う指定管理料にははね返らないと、そういうことでよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 最初に私どもが指定管理料を算定したときに、それまでで体育館でかかっている維持管理費、それをもとにやっておりますので、向こうのほうが戦略的にたくさんかけてたくさん取ろうと思うのは向こうの中で可能なので、そういった形で指定管理料に影響が出てくることはございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 出のほうの4番の光熱水費なんですけれども、前年度に比べると1,000万円ぐらい予算が上がっていて、結果は1,000万もふえなかったんですけれども、当初よりか800万ぐらい光熱水費がたくさん必要だったというふうになっているんですが、こういうことが起こっていたとしても指定管理料には影響していないと、そういうことでよかったですか。何でこんなにふえちゃったのかというのがもしわかれば教えてください。

（100万円の声あり）

○山盛さちえ委員 100万円ですか。済みません。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） これだけの中の100万ですので、その辺の原因までは追及しておりませんし、この金額をもって、精算項目じゃないものですから、指定管理料が変わることはございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 1点だけ、この指定管理に関して。

先ほど部長からモニタリングでやってみえるということでしたので、それは大変結構なことだと思いますけれども、モニタリングをしているのはどういう方がやってみえるのかということと、それから、この人件費に関していえば、そのモニタリングの中で賃金台帳まできちんと確認をするようなことが行われているのかどうなのかと、そのことについてお伺いします。

○決算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 一次的には担当職員が行ってモニタリングの聞き取りをやりまして、そのデータをもとに指定管理委員会で毎年そのモニタリング結果については審議しております。賃金台帳については確認しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

これにて10款 教育費の質疑を終わります。

本日の会議はこれまでとします。

あす12日は11款 災害復旧費より始めます。長時間にわたり御苦労さまでした。

午後5時56分閉議